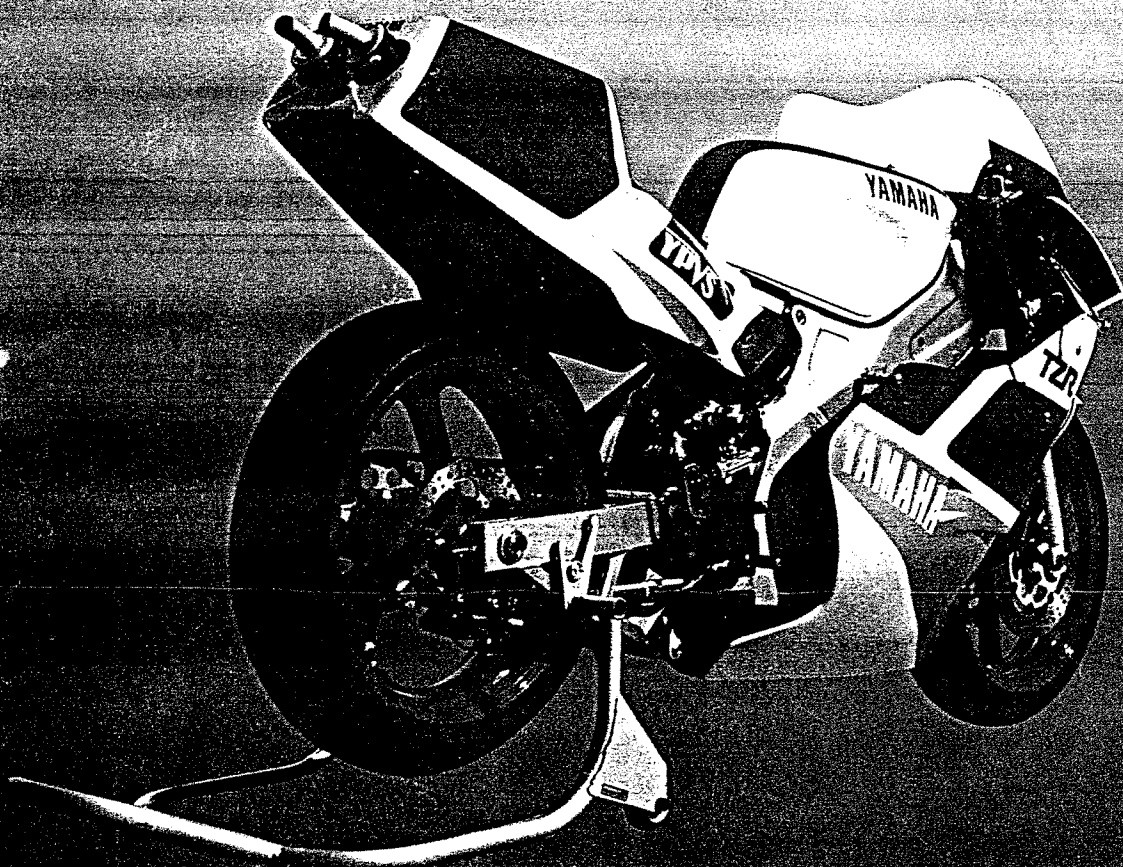


# RACE KIT MANUAL

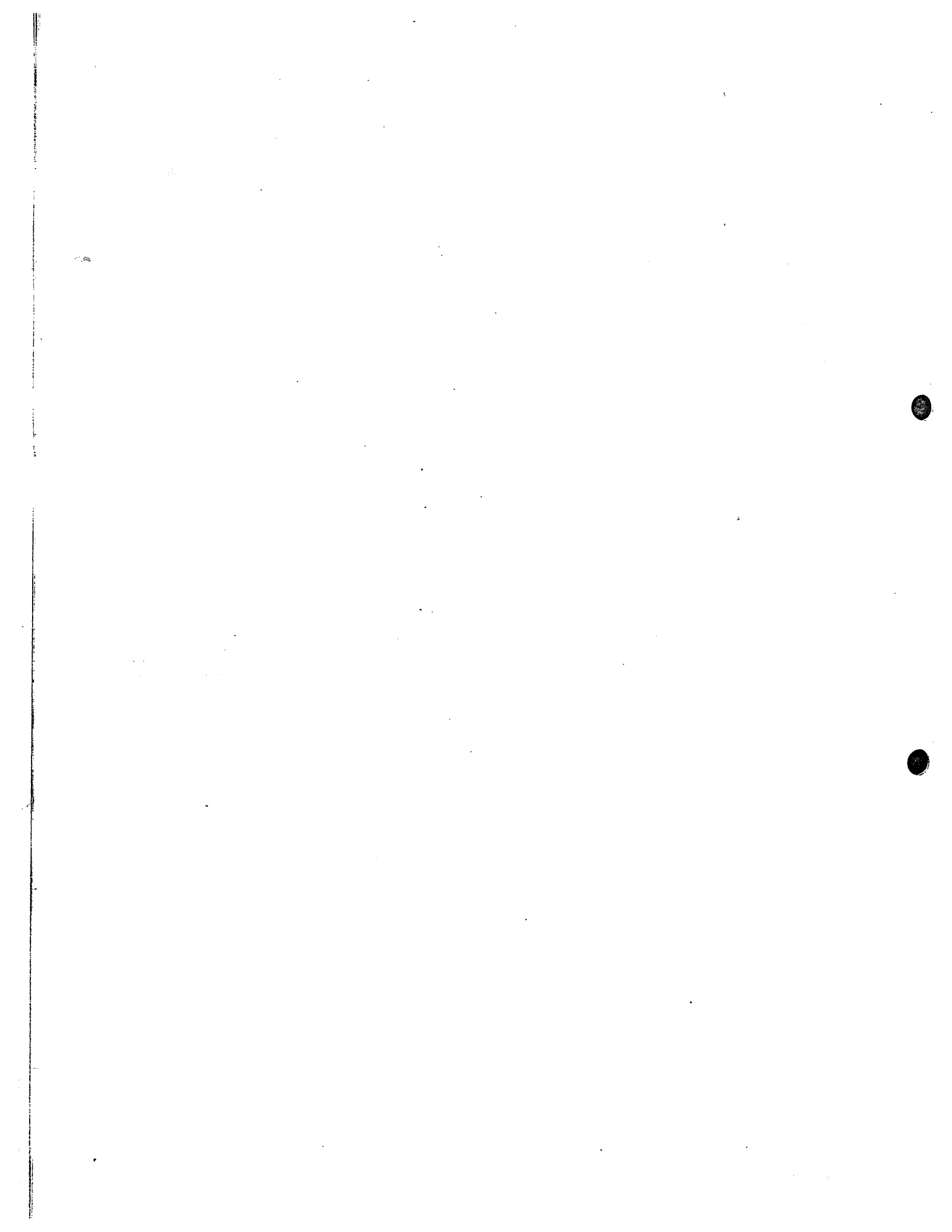
FOR

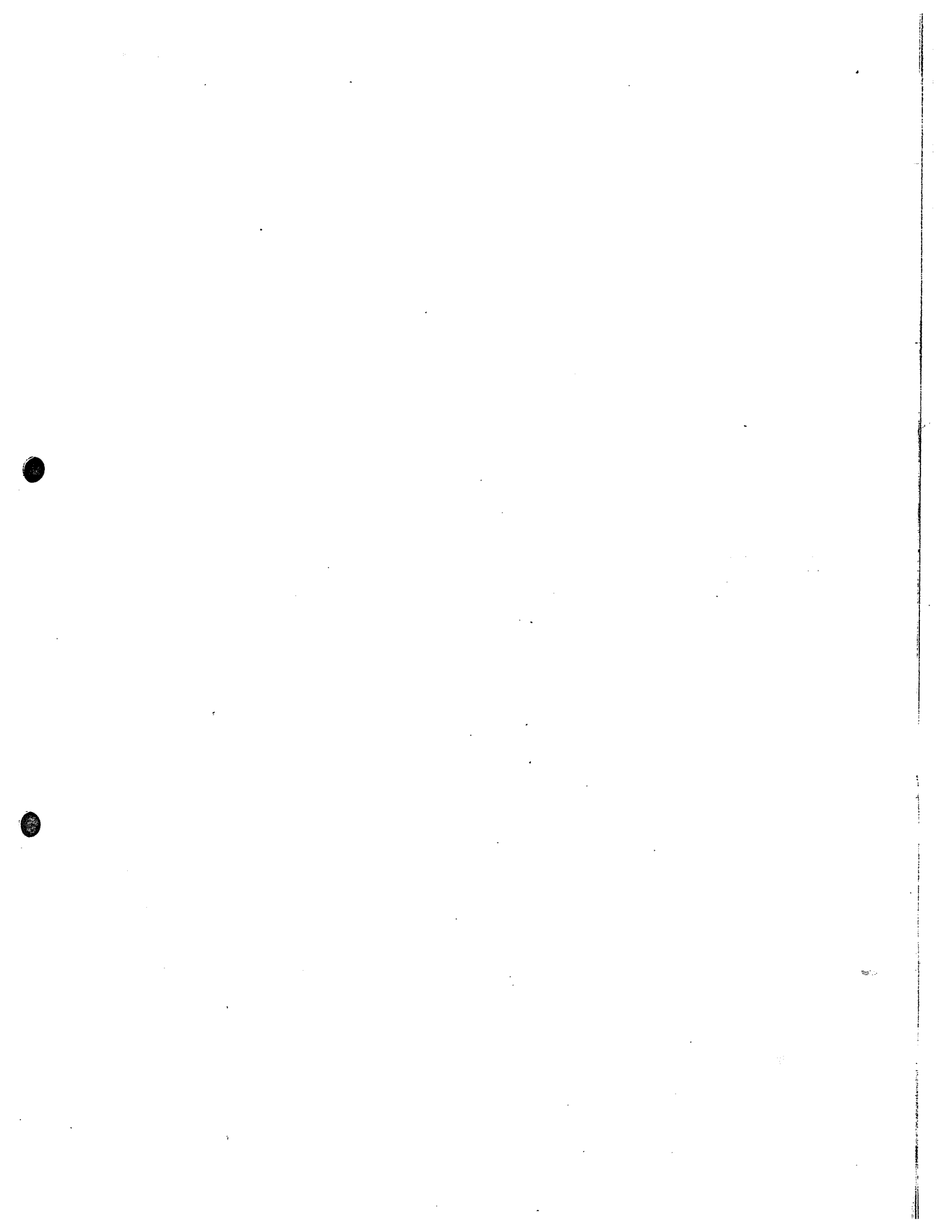
# TZR250

*2-CYCLE SUPER SPORTS*



**RCSUGO**





# '90 TZR250 レーシングキットパーツ

## F-IIIキット

1. レーシングチャンバーセット
2. ヘッドシリンダーセット
3. シリンダーセット
4. キャブセッティングパーツセット
5. ピストン・ピストンリングセット
6. CDIコントロールユニット
7. CDIローターセット
8. ワイヤハーネス
9. オイルポンプ・キックアーム盲栓セット
11. ドライブsprocketセット
12. キットマニュアル

## F-IIIキットオプションパーツ

1. クロスミッションセット
2. クロスミッションレシオ変更セット

# '90 TZR250 レーシングキットパーツ

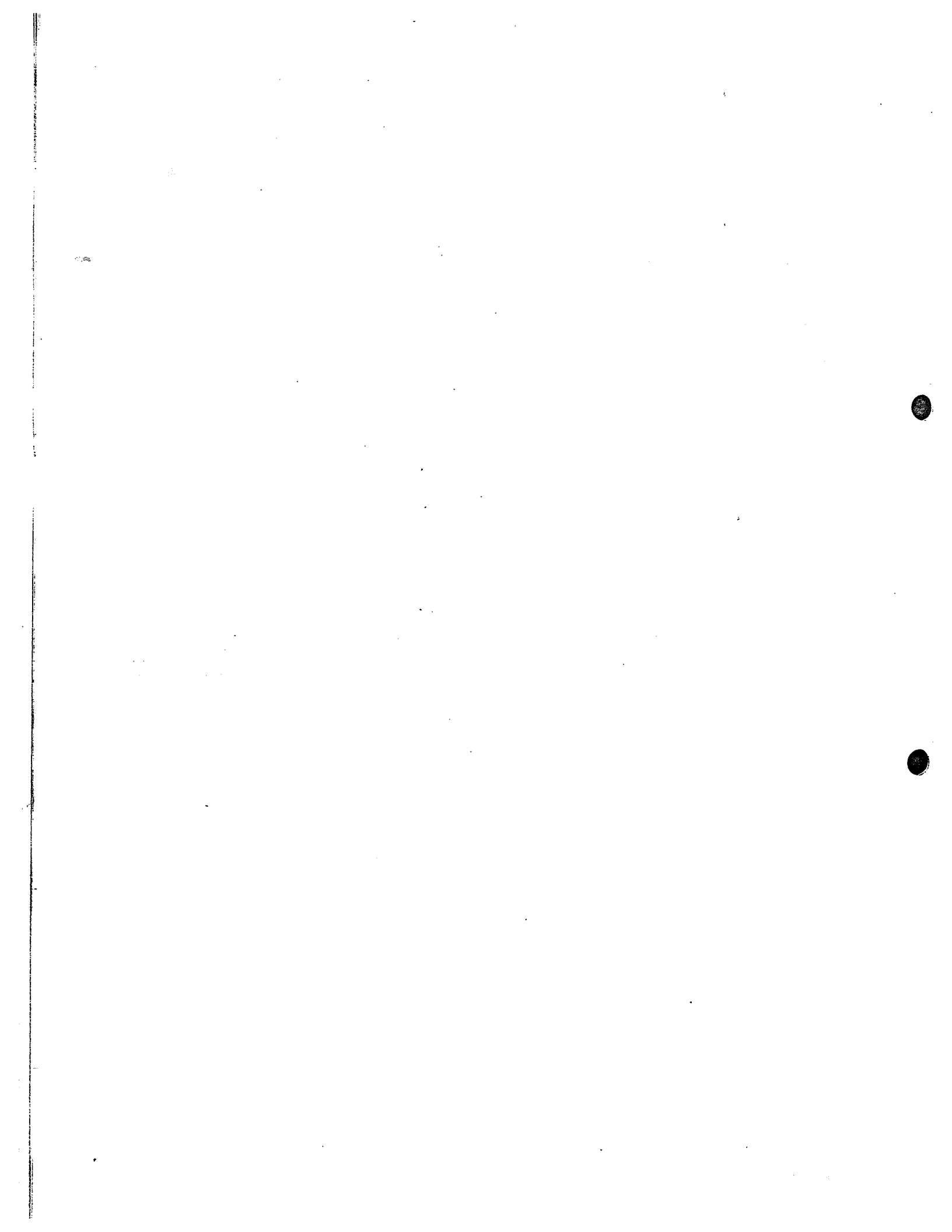
## SPキット

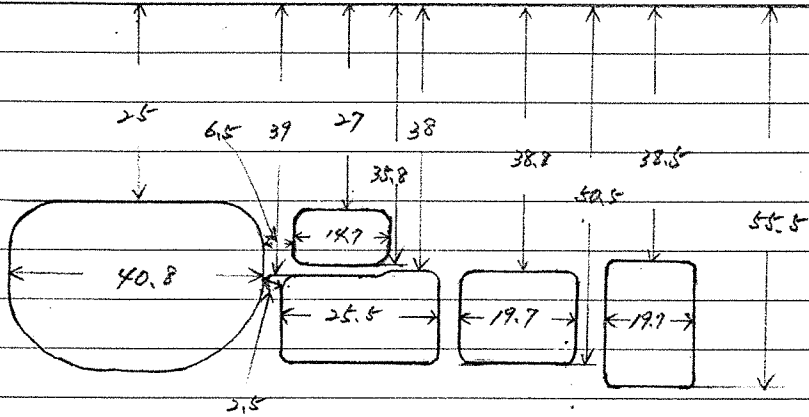
185,000-

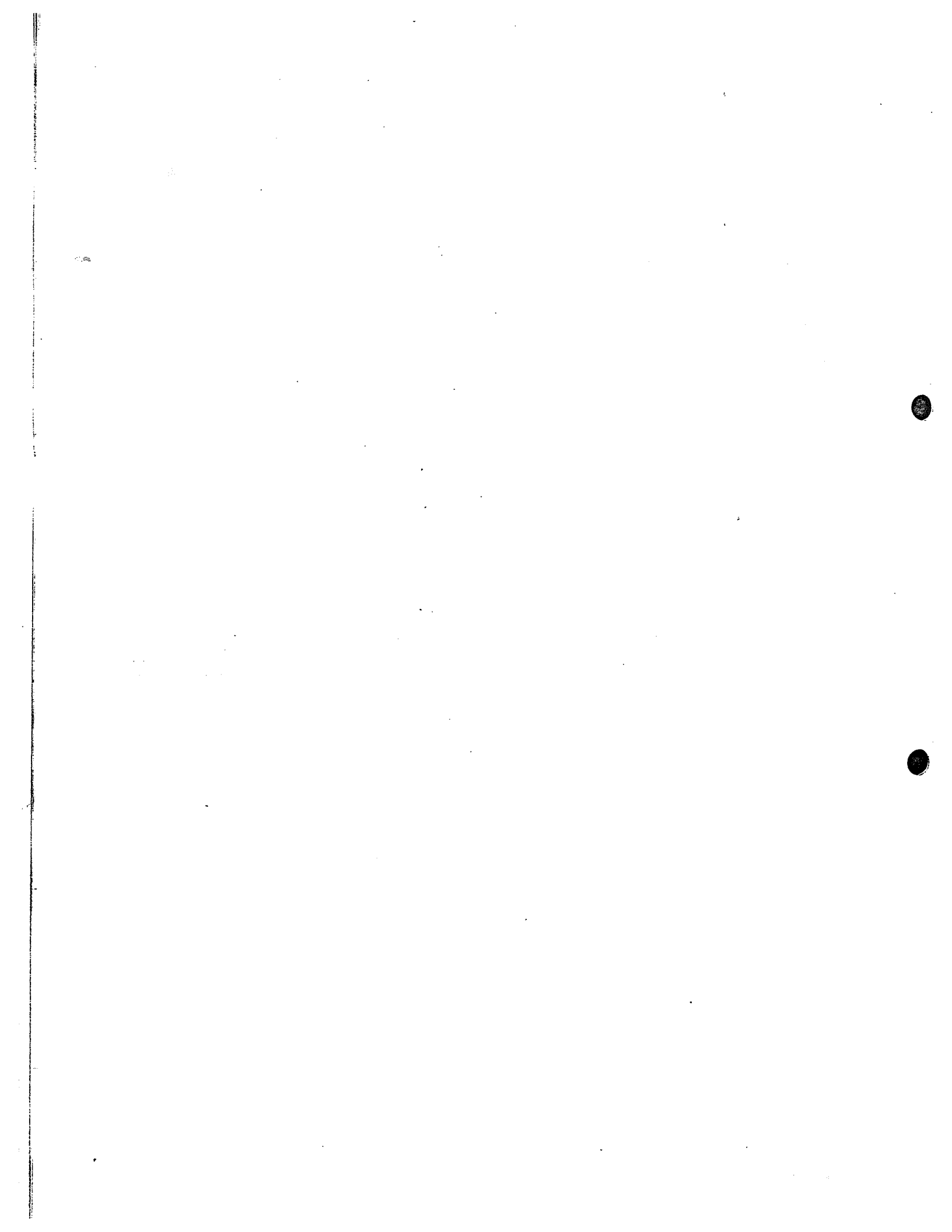
1. レーシングチャンバーセット
2. キャブセッティングパーツセット
3. CDIコントロールユニット
4. ワイヤハーネス
5. オイルポンプ・キックアーム盲栓セット
6. ドライブスプロケットセット
7. ドリブンスプロケットセット
- ◇ 8. フロントブレーキホースセット
9. ヘッドライト取り外し用ステー
10. ゼッケンプレート
- ◇ 11. キャブレターカバー
- ◇ 12. クーリングプレート
- ◇ 13. オイルタンク取り外し用ステー
- ◇ 14. ホイルカラー (メーターギャ削除用)
15. キットマニュアル

## SPキットオプションパーツ

1. 大容量ラジエターセット (水温計付き)
2. タコメーターセット
3. ステアリングダンパーセット









セッティングデータ表 3MA4 SP SPキット

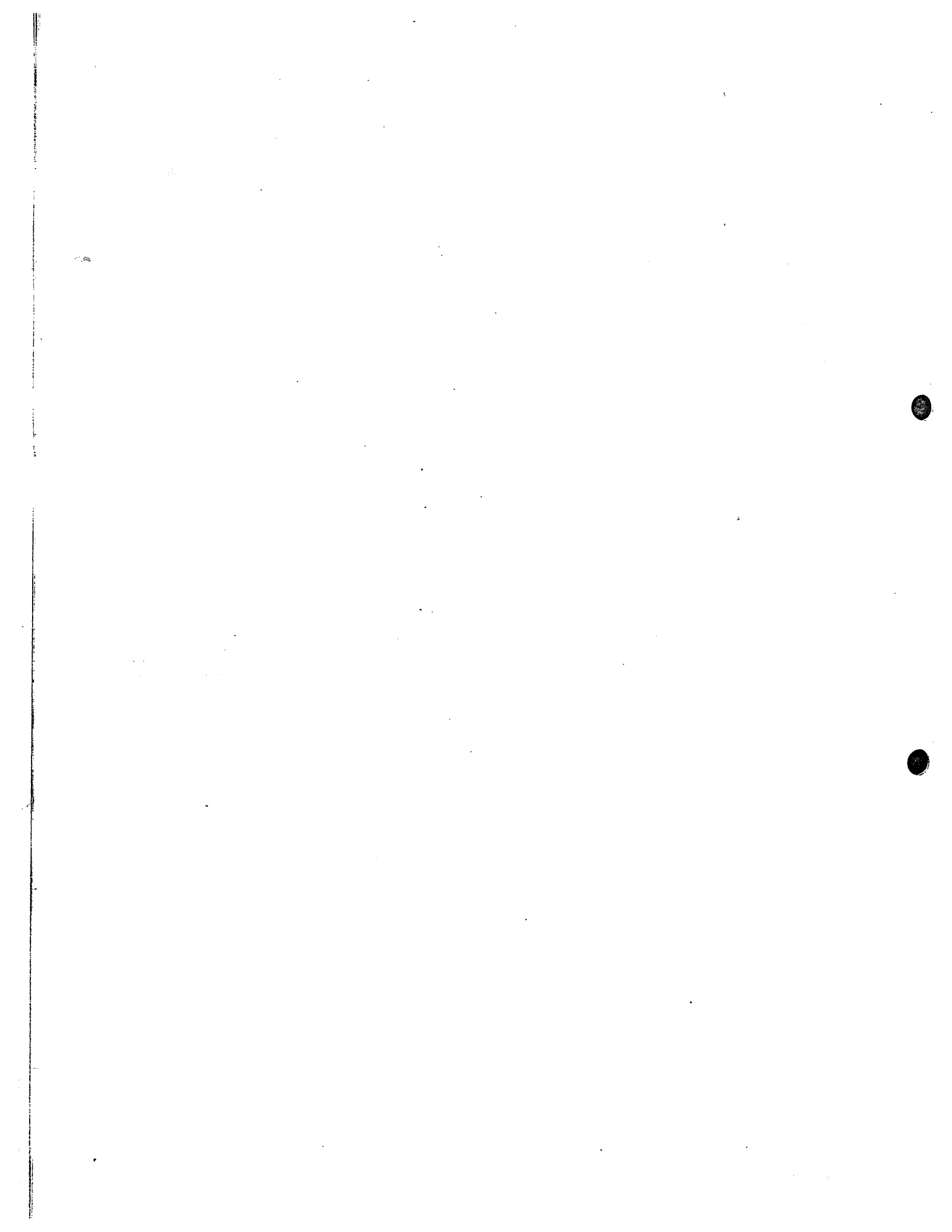
年 月 日	— / — / —	'90.1		
コ ー ス 名	マ211コース	マ211コース		
天 候 / 気 温	— / —	— / —	総 1016mm	
機 種 / フレーム No.	— / —	— / —	乾 13.0℃	
			湿 9.0℃	
			55%	

エンジン

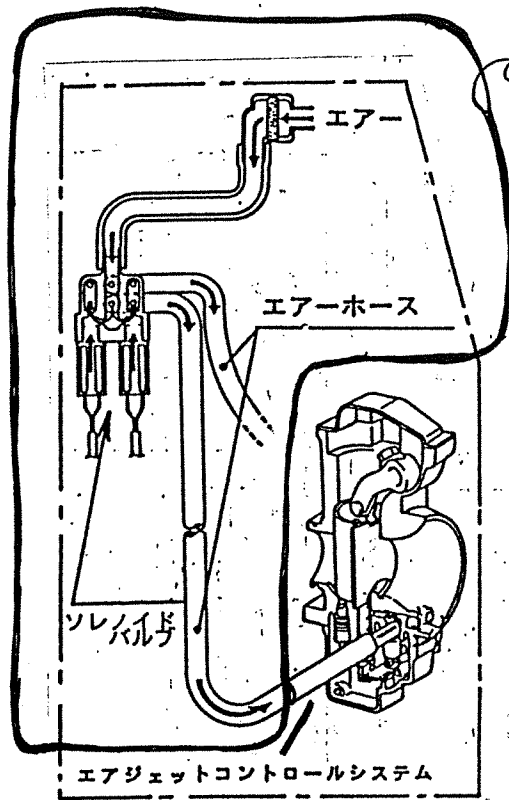
混合オイル / 混合比	—	A1747(0724-14) 30:1 B1102-2RS(072)			
エンジンオイル / 粘度	マ211キャボア	←			
点火時期 (B.T.D.C.)	—	SPキットユニット			
スパークプラグ	BR9ES	BR-10EV(NGK)			
ガ ソ リ ン	無鉛レギュラー	ア77ガス			
ボディシリンダ		←			
ヘッドシリンダ	10.8 ± 0.15 <sup>cc</sup>	←			
ク ラ ン ク	キ11R STD	←			
ク ラ ッ チ	乾 式	←			
ベ ー ス G S K T	0.6 <sup>t</sup>	←			
ヘ ッ ド G S K T	0.2 <sup>t</sup>	←			
リ ー ド バ ル ブ	6葉樹指	←			
マ ニ ホ ー ル ド	STD	←			
ピストンクリアランス	45~50 <sup>μ</sup>	←			
チ ャ ン バ	3MA4	SPキット			
サ イ レ ン サ	3MA4	3LC			
キャブレター	キャブボア	TM34SS(34)	←		
	メインジェット(M.J.)	#270	#380		
	パワージェット(P.J.)	#10	#100		
	ジェットニードル(J.N.)	6ZL10 <sup>-3</sup>	6H8-63 <sup>-3</sup>		
	ニードルジェット(N.J.)	Q-4	Q-8		
	パイロットジェット(P.J.)	#15	#25		
	エアスクリュ(A.S.)	1/2	←		
	カッターウェイ(C.A.)	#5.0	#6.0		
	メインエアージェット(MAJ)	① #120 ② #120 ③ #175 15日 #2.8 3.4.5 #2.5 #2.0x44	① #50 ② #30 ③ #70 3.4.5 #2.5 2.0x44		
	ジェットホルダー(NJH)				

車 体

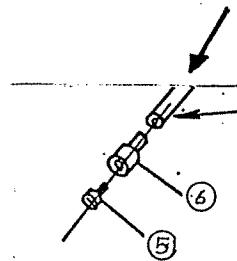
F フ ォ ー ク	突 出 量	10	30	ラッパ	170kg時の設定値
	オ イ ル 粘 度	昭和 SS8号	SS8号		
	オ イ ル 油 面	最高180mm	←	STD	SP
	スプリングイニシャル	27.1 ± 0.57 (18mm)	←	圧減衰10回 伸・10回	←
R ク ッ シ ヨ ン	全長 (取付け長)	300	300		
	スプリングイニシャル	<del>27.1</del>	伸長150mm		
	伸び側減衰力	14段もど	12段		
	圧側減衰力	16段	14段		
	ガ ス 圧				
タ イ ヤ 銘 柄 / 型 式	フロント	110/70R17 GPR10FG	←		
	リ ャ	150/60R18 GPR10	←		
タ イ ヤ コンパウンド	フロント	<del>—</del>	<del>—</del>		
	リ ャ	<del>—</del>	<del>—</del>		
タ イ ヤ 空 気 圧	フロント	2.0	1.9		
	リ ャ	2.25 (2.5)	2.2		
	フロント	3.00 - 17	←		



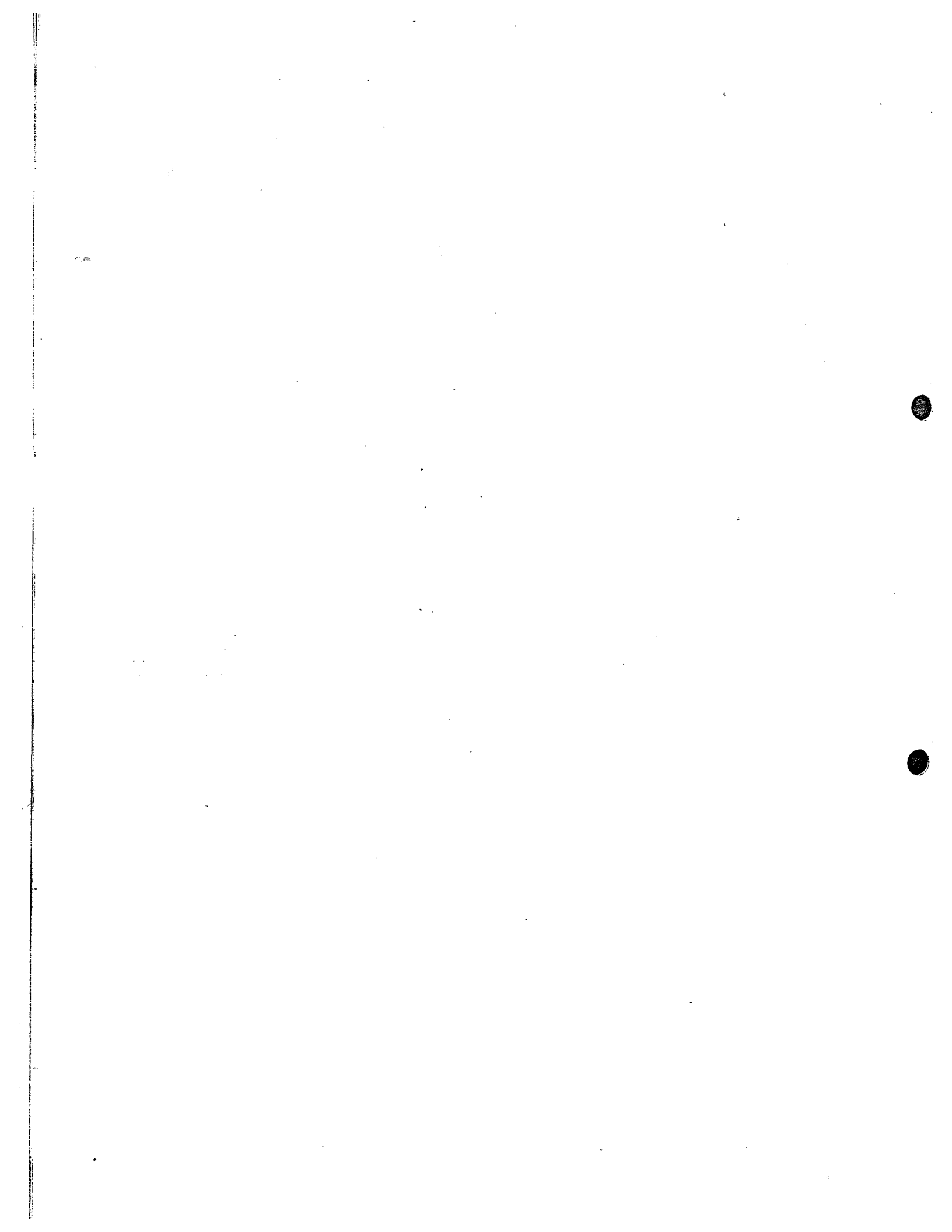
# メインエアジェット, コンペンセーター組込訂正図



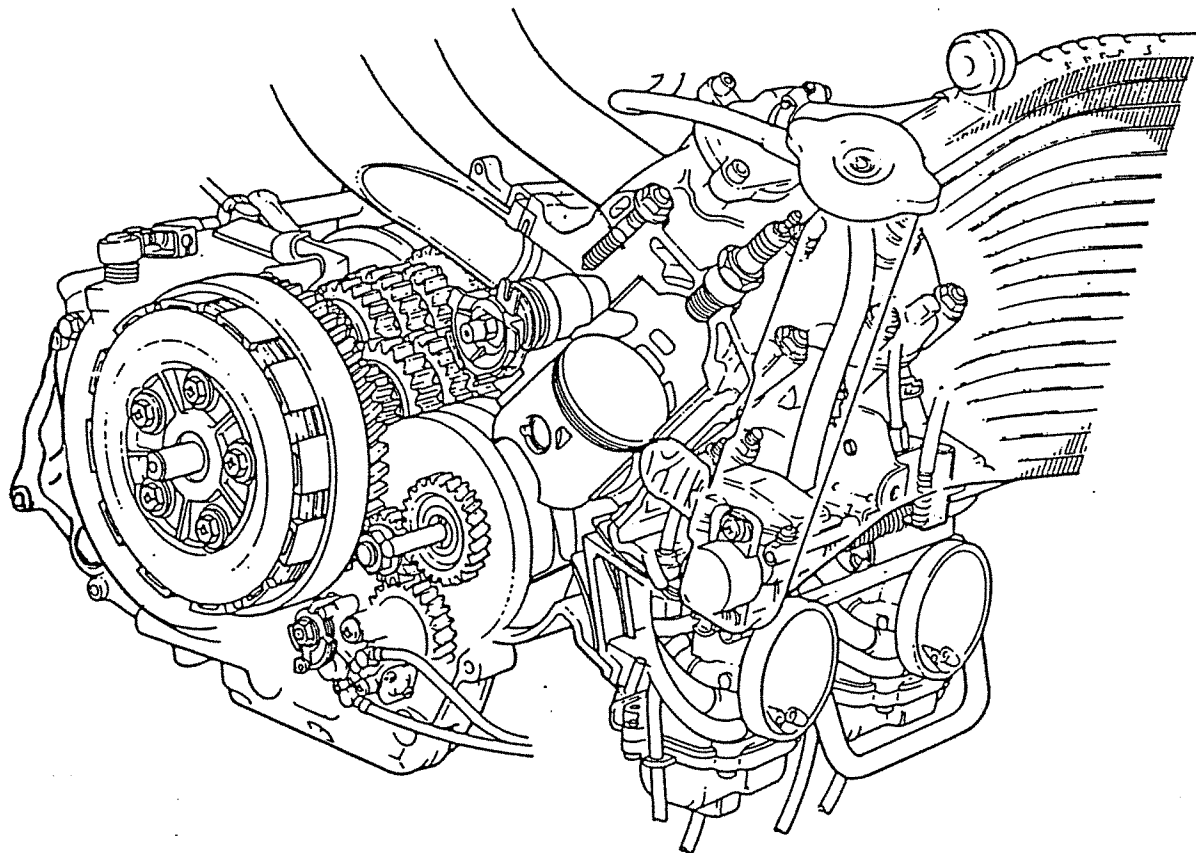
この部分は使用しません。  
但し、ソレノイドバルブの中にあるMAJ#50は、セッティングパーツとして使用します。



エアホースを任意に切断して  
⑤⑥を組み込む



このマニュアルは、TZR250が充分にその性能を発揮できるように、また安全にご使用いただけるように、キットパーツ組込み全般について必要な事柄を記載したものです。ぜひご一読の上、レース活動にお役立てください。



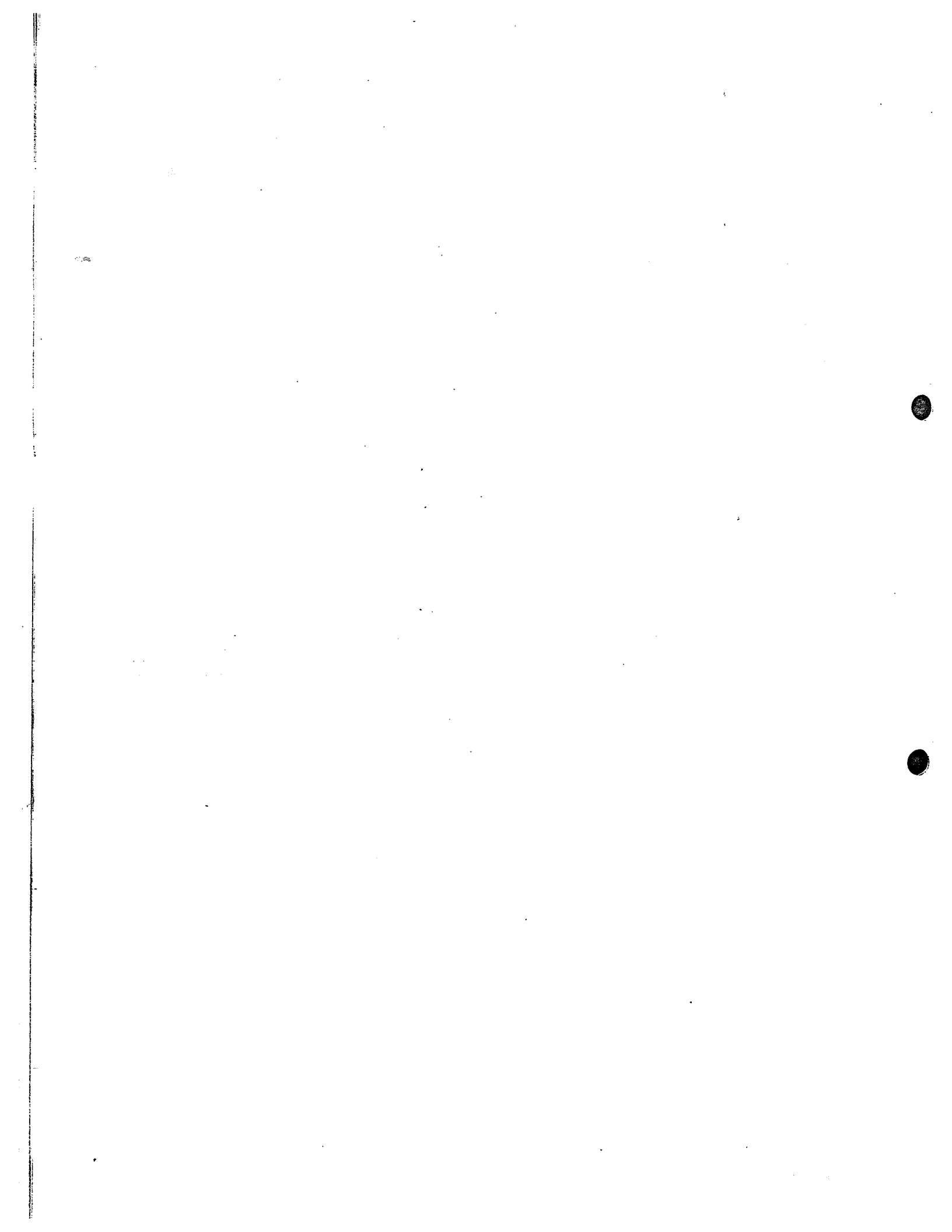
(細部については、TZR250サービスマニュアルをご利用ください。)

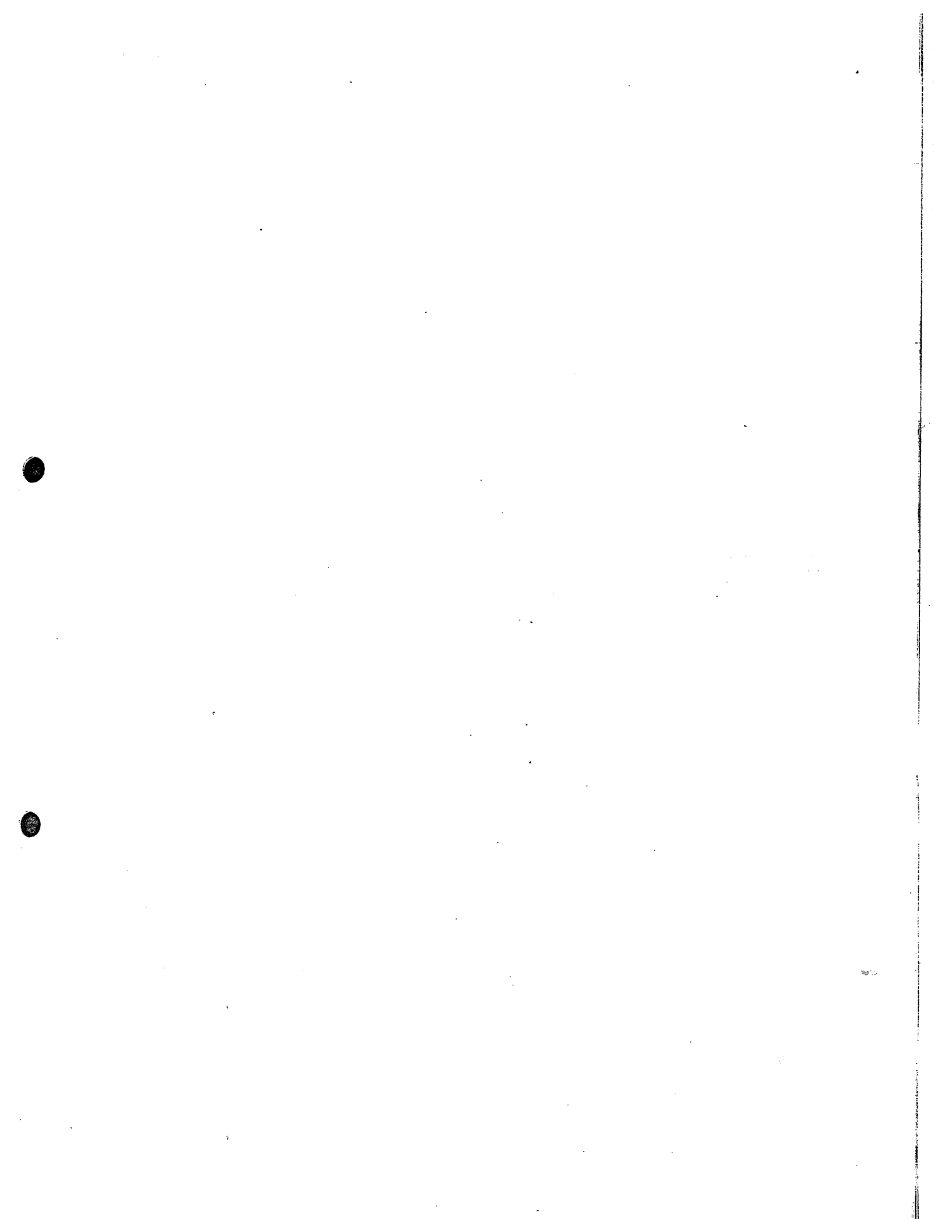
#### お願い

このパーツはレース専用ですから、一般道路走行を目的としては、絶対に使用しないでください。改造車両として取締りの対象となります。

保証については、一般市販車用パーツと異なり、クレーム保証の対象とはなりませんので、あらかじめ御了承ください。

本仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。





項 目	諸 元
エ ン ジ ン タ イ プ	2サイクル水冷、並列2気筒
ボ ア ー	56mm
ス ト ロ ー ク	50.7mm
排 気 量	249cc
圧 縮 比	8.1 (S・P=7.4)
キャブレター形式	TM32SS
排気系形式	後方ストレート排気システム
クラッチ形式	湿式多板
ミッション	カセット式常時噛合6速
点火方式	C. D. I 点火

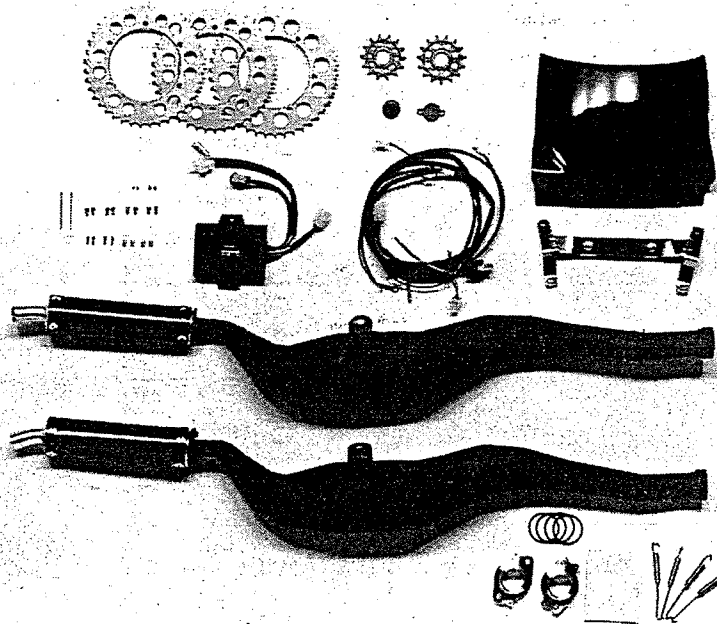
その他整備データ等は本マニュアルP46および基本車(3MA)サービスマニュアルを参照願います。

○本キットはTZR250(3MA)用です。

詳細は購入販売店またはRC・SUGOまで御問合わせ下さい。

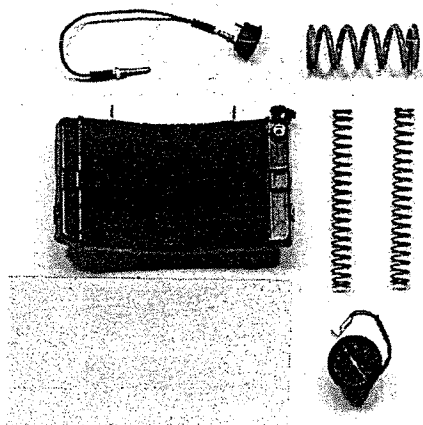


<S・Pキット>



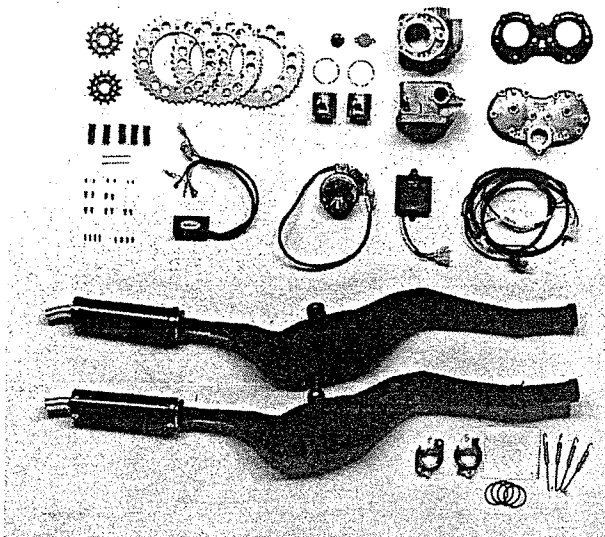
- エキゾーストパイプ, サイレンサーセット
- キャブセッティングパーツセット
- CDIコントロールユニット
- ワイヤーハーネスセット
- オイルポンプ, キックアームプラグ
- ゼッケンプレート
- ヘッドライト取りはずしステー
- ドライブsprocketセット
- ドリブンスprocketセット

<S・Pオプションキット>



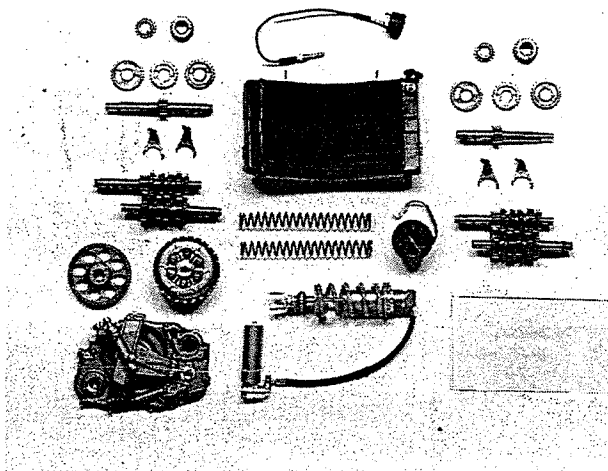
- フロントフォークスプリング.....F-III共用
- リヤサススプリング.....F-III共用
- ラジエターAss'y (水温計付) .....F-III共用
- タコメーターセット.....F-III共用

<F-IIIキット>



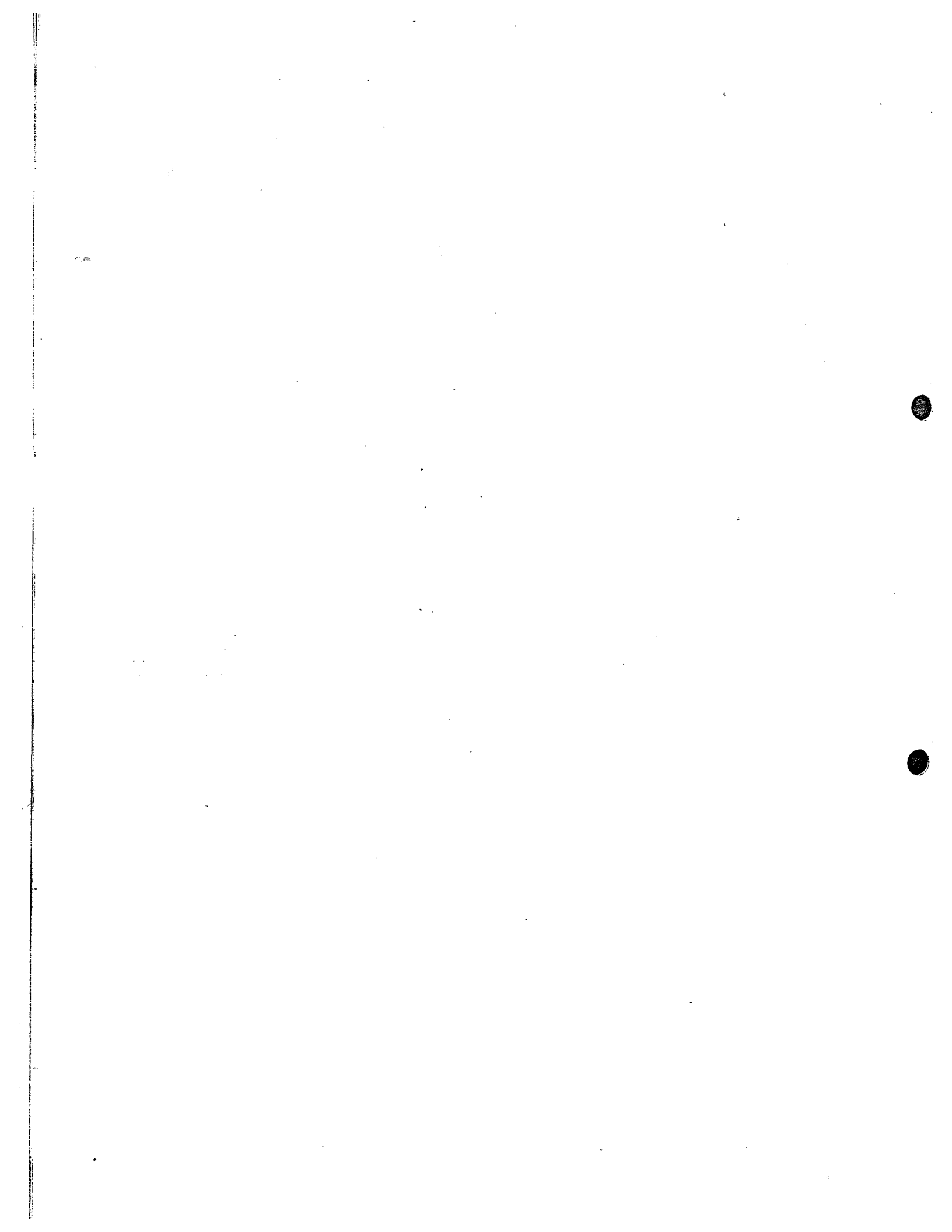
- ピストン, ピストンリングセット
- エキゾーストパイプ, サイレンサーセット
- シリンダーセット
- ヘッドシリンダー
- ヘッドガスケット
- キャブセッティングパーツセット
- オイルポンプ, キックアームプラグ
- CDIマグネットセット (含コントローラー)
- ワイヤハーネスセット
- クラッチスプリングセット
- ドライブsprocketセット
- ドリブンスprocketセット

<F-IIIオプションキット>



- クロスミッションセット
- ミッションレシオ変更パーツセット
- 乾式クラッチセット
- ラジエターAss'y (水温計付) ..... S・P共用
- リヤショックアブソーバーAss'y
- フロントフォークスプリングセット..... S・P共用
- タコメーターセット..... S・P共用

	ページ
1. エンジンの基本チューニング .....	1
1) 整備上の注意事項1 .....	1
2) 整備上の注意事項2 .....	4
3) スパークプラグの熱価変更について.....	5
4) ならし走行 .....	6
5) 使用燃料, オイル .....	8
6) 各エンジンパーツの点検, 交換一覧表 .....	9
2. キットパーツの組込方法 .....	10
1) キッククランクプラブの組込 (S・P, F-Ⅲキット) .....	10
2) オイルポンププラグの組込 (S・P, F-Ⅲキット) .....	11
3) ピストン, ピストンリングの組込 (F-Ⅲキット) .....	12
4) シリンダー, シリンダーヘッドの組込 (F-Ⅲキット) .....	13
5) エキゾーストパイプの組込 (S・P, F-Ⅲキット) .....	14
6) キャブセッティングパーツの組込 (S・P, F-Ⅲキット) .....	15
7) C・D・I ユニットアッセムブリの交換 (S・Pキット) .....	20
8) C・D・I マグネットアッセムブリの交換 (F-Ⅲキット) .....	21
9) ワイヤハーネスアッセムブリの交換 (S・P, F-Ⅲキット) .....	22
10) ドライブ, ドリブンスプロケットの組込 (S・P, F-Ⅲキット) .....	25
11) ヘッドライト取りはずしステーの組込 (S・Pキット) .....	25
12) フロントゼッケンプレートの組込 (S・Pキット) .....	25
3. オプションキットパーツの組込方法 .....	26
1) 大型ラジエターの組込 (S・P, F-Ⅲキット) .....	26
2) タコメーターの組込 (S・P, F-Ⅲキット) .....	26
3) クロスミッションの組込 (F-Ⅲキット) .....	27
4) 乾式クラッチの組込 (F-Ⅲキット) .....	31
5) フロントフォークスプリングの組込 (S・P, F-Ⅲキット) .....	34
6) リヤサススプリングの組込 (S・P, F-Ⅲキット) .....	34
7) リヤショックアブソーバーの組込 (F-Ⅲキット) .....	34
4. 整備資料 .....	35
1) 締付トルク一覧表 .....	35
2) オイル, グリース, シール剤塗布箇所一覧表 .....	39
3) 特殊工具・機器 .....	41
4) 基本車 (3MA) 仕様, 諸元表 .....	46



# 1. エンジンの基礎チューニング

## 1) 整備上の注意事項1

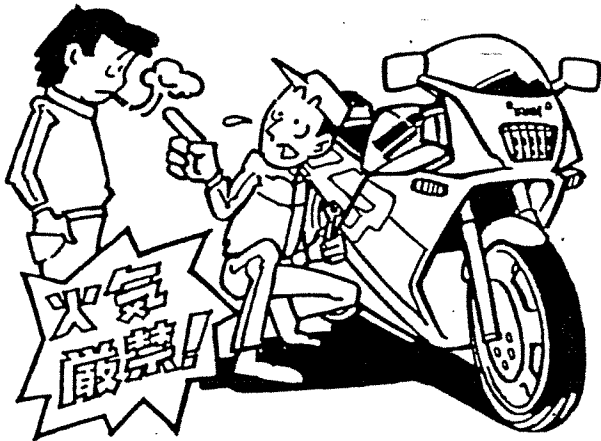


### 1. 洗車

車体、エンジンの泥、ほこり等をよく落とし、作業中内部に混入しない様にする事。

#### 注意

- フロントウインド、メータレンズは樹脂製です。アルコール、シンナ、ガソリンや有機性溶剤を使用して清掃しないこと。
- 清掃は柔らかい布かスポンジを使用して、水または中性洗剤を使用して水で洗うこと。
- 洗車時はサイレンサテールパイプ部に栓等をしてから行うこと。

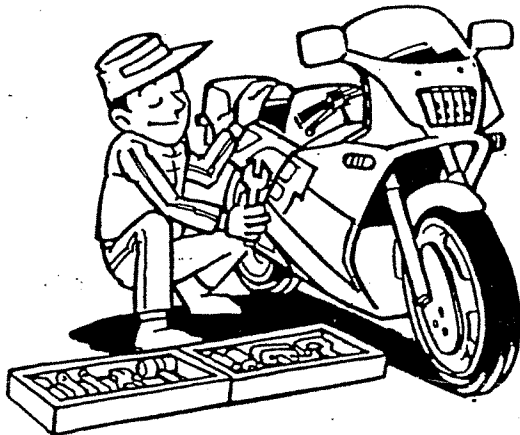


### 2. レーシングスタンド

- ①エンジンを始動して後輪を回転させないこと。
- ②レーシングスタンド使用中は乗車しないこと。スタンドの変形、破損の原因となります。

### 3. 火気厳禁

整備工場には火気を絶対に近づけないこと。



### 4. 正しい工具

部品に損傷を与えない様に、特殊工具の必要な箇所の作業には必ず特殊工具を使用する。また適切な工具と計器に依る適正な作業を実施すること。(スパナ等は出来るだけ避け、メガネ、ボックスレンチ等を使用すること。)

### 5. 消耗部品

ガスケット(パッキン)、Oリング、コッタピン、サークリップ、ロックワッシャ等は新品と交換すること。

### 6. 純正部品

使用する部品や油脂類は必ずヤマハ純正部品、及び推奨品を使用し、他のものは使用しないこと。

1. ツツス

プラスチック部品や樹脂塗装部品はコンパウンド入りの自動車用ワックスを使用すると変色、色落ちします。

コンパウンドの入っていないヤマハ純正ワックス(ユニコンカークリーム)を使用すること。

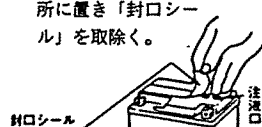
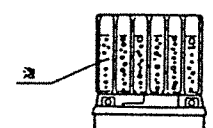

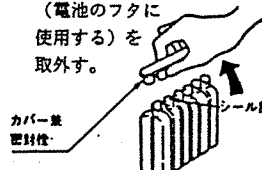
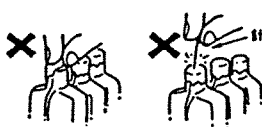
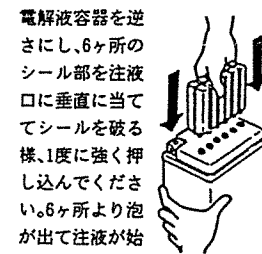
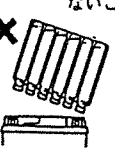

8. 密閉タイプバッテリーの取扱い

(YUASA製バッテリーを説明しています。)

### 電解液の注液方法

**お願い**

- 必ずバッテリーを車両から降して注液してください。
- バッテリーと同一形式か確認しご使用ください。

<p><b>1 電池の用意</b></p> <p>バッテリーを水平な所に置き「封口シール」を除去く。</p> 	<p><b>4 注液の確認</b></p> <p>6ヶ所それぞれから泡が出ていることを確認し、そのままの状態20分以上放置してください。</p>  <p>注意：もし、泡の出ない所があれば、(容器は取外さない) 容器の底を軽く2~3度たたいてください。泡が出て注液出来ます。</p> 		
<p><b>2 電解液の用意</b></p> <p>ビニール液より取り出し、カバー兼密封栓(電池のフタに使用する)を取外す。</p>  <p>注意：シール部をはがしたり、鋭利な物で穴をあけないでください。</p> 	<p><b>5 注液完了の確認と液容器の取外し</b></p> <p>注液が完全に行なわれたか確認し、液が残っていたら上記同様たたいて入れてください。注液が完了したら、容器を静かに抜いて下さい。</p>	<p><b>3 電池への注液</b></p> <p>電解液容器を逆さにし、6ヶ所のシール部を注液口に垂直に当ててシールを破る様、1度に強く押し込んでください。6ヶ所より泡が出て注液が始まります。</p>  <p>注意：電解液容器を斜めに押し込むと注液出来ないことがあります。</p> 	<p><b>6 密封栓の取付け</b></p> <p>カバー兼密封栓を注液口へ完全にはめ込む。(密封栓がバッテリー上面と同じ高さになるまで)</p>  <p>以降は密封栓を外し、補水補液を絶対にしないでください。</p>

### 充電方法

●このバッテリーは密閉式です。密封栓は充電時でも外さないで下さい。

●補水は絶対しないで、充電時は12Vで下記電流と時間を守って下さい。

**標準：0.4A×5時間又は急速：4A×30分間**

このバッテリーは12V用で液量点検及び補水不要な密閉式です。次の点に特にご注意下さい。

- 充電時等いかなる場合においても密封栓は絶対に外さないで下さい。(密封栓を外さないかわりにガス排気弁を設けてあります。)
- 充電状態の点検は、デジタルボルトメーターまたはバッテリーテスタを用い電圧測定により行って下さい。(規定電圧：12.8V以上)
- この電池は密閉タイプバッテリー装着車以外には使用しないでください。

バッテリーは引火性ガスが発生しますので、取扱いを誤ると爆発や火傷をすることがあります。

充電時等に必ず守っていただきたいこと

- 火気厳禁-ショートやスパークをさせたり、タバコ等の火気は危険(爆発)
- バッテリー液(稀硫酸)に注意-皮膚、目、衣服につくと危険(やけど、失明等)

危険手当

- 皮膚、衣服についたときは直ちに多量の水で洗う。
- 目に入ったときは直ちに多量の水で充分に洗い、医師の治療を受ける。

DANGER

子供の手の届く所に置かないでください。

**注意** 電解液は必ずバッテリーメーカーの指定するものを使用すること。

## YT4(L)-BS用 電解液

ECS-0.18N

**注意**

この電解液は、YT4(L)-BS形以外に使用しないで下さい。

**注液方法**

注液の際には、反対側の電解液取扱説明書を必ずお読み下さい。

**取扱い上の注意**

- この電解液は、**医療用外剤**である【医薬品】です。
- この電解液をバッテリーに注入するときは、皮膚についたり、服に入ったりしないよう十分注意して下さい。
- もし皮膚や衣服についたときは、直ちに水で洗い流して下さい。
- 万一服に入ったときは、直ちに水で十分に洗い流す等の処置をうけて下さい。
- バッテリーに注入し、容器に電解液が残ったとき(付着分も含む)は、電解液ナトリウムを他の出なくなるまで入れてから、多量の水で濯いで下さい。
- 内容物が限額、漏しにくいよう十分注意して保管して下さい。
- 万一変質があったときは、直ちに警察官に届出下さい。

**販売店**

販売元 **備前電機株式会社**

大阪府高槻市城野町6番6号

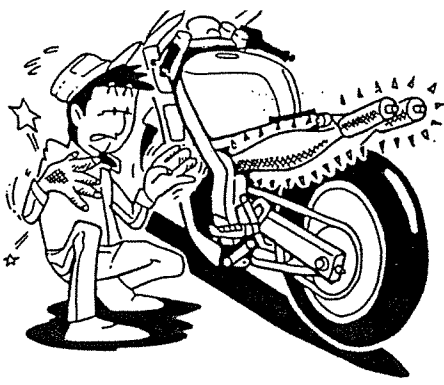
**医療用外剤**

**希硫酸**

- 比重 (20℃) 1.32
- 容量 0.18L
- 硫酸 41%

製造元

備前電機株式会社  
大阪府高槻市城野町6番6号  
電話 042-66-3356



#### 9. ツカ、ヤロコ

整備中、ケガをしない様、またエンジン、エキパイ、マフラ等で火傷する事のない様に、十分注意して作業すること。

#### 10. 分解、組立て上の注意

- ①分解を行なう場合、必要な部品については分解中に点検、測定をしてその記録を残し組付け時の参考とする。
- ②各部品を混同、紛失しない様に、各セクション毎に整理する。
- ③エンジン、ミッション部品は、分解後洗油で洗浄し、エアで吹くこと。
- ④組立は、各部品の修正結果および分解前のデータを確認しながら作業を進める。
- ⑤組付け中の各部品にほこりや異物が付着しないようにする。
- ⑥各セクション毎に、作動を確認し、組付けて行く。
- ⑦摺動部分には、オイルを塗布する。
- ⑧規定の締付トルクを守ること。
- ⑨作業を2人でする場合は、相互の連絡を密にする。

#### 11. 冷却水

冷却水を車に付着したまま放置すると塗装、メッキが損傷するので早目に水洗すること。

##### クーラントの取扱い上の注意

クーラントは毒性がありますので取扱いには充分注意すること。

##### ●目に入った場合

水で十分に洗い流してから医師の治療を受けること。

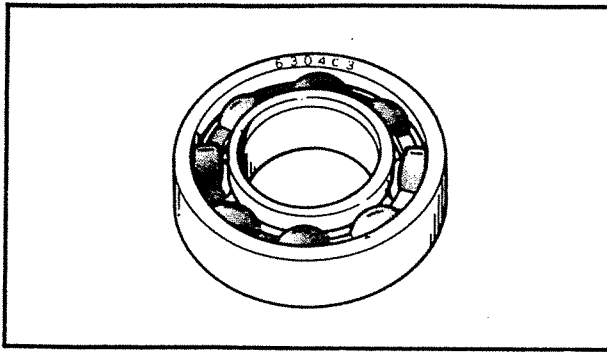
##### ●皮膚や衣類についた場合

すみやかに水洗いしたのち石鹼水で洗うこと。

##### ●飲んだ場合

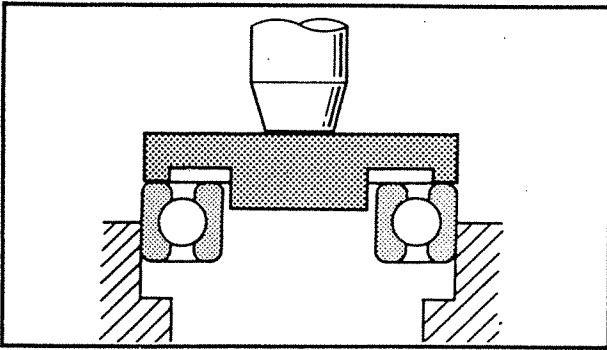
ただちにおう吐させ医師の治療を受けること。

## 2) 整備上の注意事項 2

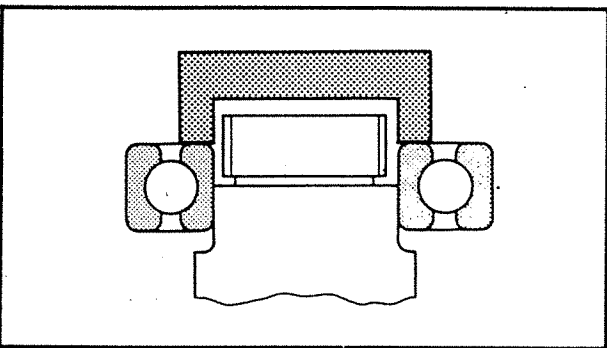


### 1. ベアリングの組付け方

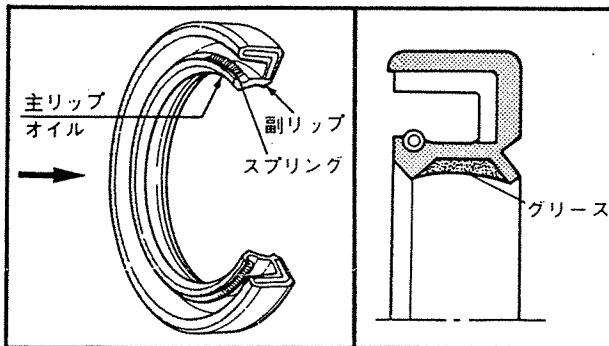
- ・ベアリングの組付け方向はメーカー印、サイズ記号の記入されている面を組付側（外側）に向けて組付けます。



- ・ベアリングをケースに打込む時はアウトレースに力を加えて平行に打込みます。

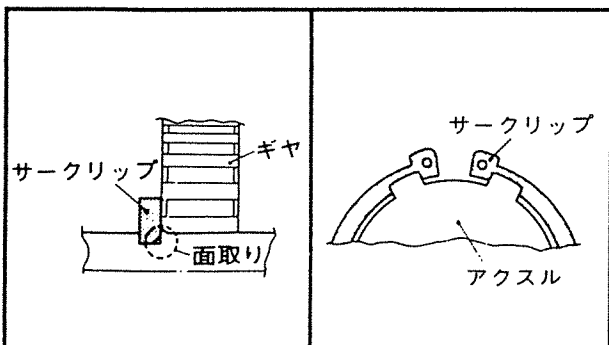


- ・ベアリングをアクスル（軸）に打込む時はインナレースに力を加えて平行に打込みます。



### 2. オイルシールの組付け方

- ・オイルシールの組付け方向は主リップを油室側（シールする対象側）に向けて組付けます。
- ・オイルシールリップ部に必ずグリースをうすく均一に塗布して組付けます。

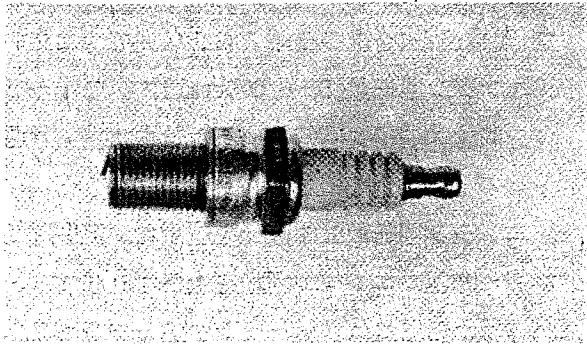


### 3. サークリップの組付け方

- ・サークリップの組付け方向はサークリップの面取り側を内側に向けて組付けます。
- ・サークリップを必要以上に広げないこと。



### 3) スパークプラグの熱価変更について



プラグの焼け具合を判断して、適正でない場合に、キャブレタのセッティングを変更する方法とプラグの熱価を変更する方法があります。

- 原則としては、プラグの熱価は標準仕様のもを使用し、プラグの焼け具合の判断によりキャブレタのセッティングで調整します。
- この場合、メインジェットが#30番以上の変更を要する場合にはプラグの熱価を変更して、あらためてメインジェットの選定を行なう方法をおすすめします。

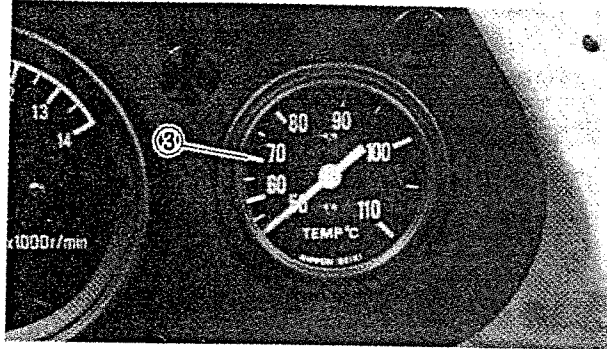
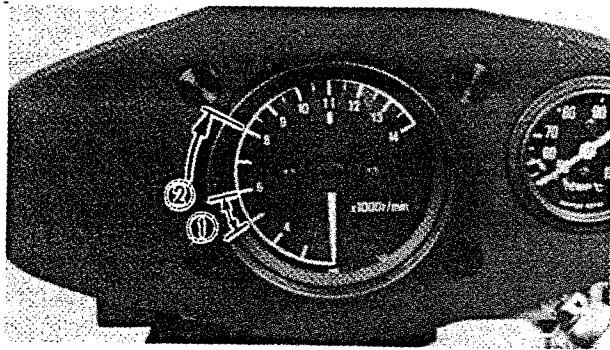
標準プラグ	NGK R9EV
-------	----------

締付トルク	1.75 ~ 2.0kg・m
-------	----------------

#### 注意

- プラグの焼け具合をチェックする時は、必ず本走行後すぐにエンジンを止めた状態で行なうこと。
- エンジンを止める前に空吹かしをしないこと。
- 熱価を変える時は、標準熱価より上下1ランクの範囲で行なうこと。
- 標準プラグメーカーと異なるメーカーのプラグを使用する時は、そのプラグが標準プラグメーカーのどの程度の熱価に相当するのか確認しておくこと。
- プラグの焼けが適正であっても、プラグメーカー、使用オイルの違いにより焼けの色が異なる場合があるので注意すること。

#### 4) ならし走行



#### ウォーミングアップ (暖機運転)

実走行前の運転としてウォーミングアップ(暖機運転)を次の要領でおこなってください

1. エンジン回転数 5~6,000rpm以内①で1~2分間位エンジン回転を上下させます。(水温計の上昇具合を確認)
2. エンジン回転数8,000rpmを越えない範囲②で2~3回、エンジン回転を上下させます。
3. 異状がなければウォーミングアップをおこないます。

1および2のウォーミングアップ運転をおこない、水温計が70°C③前後まで上昇するのを待ちます。

#### 注意

- 高回転の空吹かしは長くやらないこと。
- ウォーミングアップ中に異音や異状がないか、圧洩れはないか良く注意して行なうこと。
- 水温計が90°C以上にあがる場合は、水不足、水漏れ等が考えられるのでただちに点検すること。

4. 次にウォーミングアップ場で走行(50~100m位の所を往復)をおこない、チェンジ、クラッチ、ブレーキ等の作動を確認します。

#### ならし走行

上記ウォーミングアップ終了後、本コースでならし走行に入ります。

このならし走行は、各部品の回転部分や摺動部分および取付部分をなじませるためと、ライダー自身がマシンおよびコースになれるための重要な走行です。

**注意** ならし走行をする場合水温計が60°C~70°Cになるようにラジエタにガムテープ等を貼ってください。

1. エンジン回転数を8,000rpm以内におさえてコースを2~3周してみます。
2. 一度ピットインして各取付部分にゆるみや洩れ、その他異状がないか点検確認します。

3. 次にエンジン回転数を9,000rpm以内におさえて約20km位走行します。

(この走行で、ライディングポジションや、およそのセッティングの目安をつけます。)

4. 再度ピットインして各取付部分にゆるみや洩れ、その他異状がないか、十分に点検確認をします。

特にケーブル類の伸び、ブレーキの遊び、チェーンの伸び等について十分に点検調整を行います。

また目安をつけたセッティング(プラグの焼け具合とならし走行であることに注意)、および好みのライディングポジションに調整します。

5. エンジン回転数を8,000~10,000rpm以内におさえて約30km位走行します。

6. 最後にエンジン回転数を11,000rpmまで上げて約5km位走行して、このマシンの性能を感じ取っておきます。

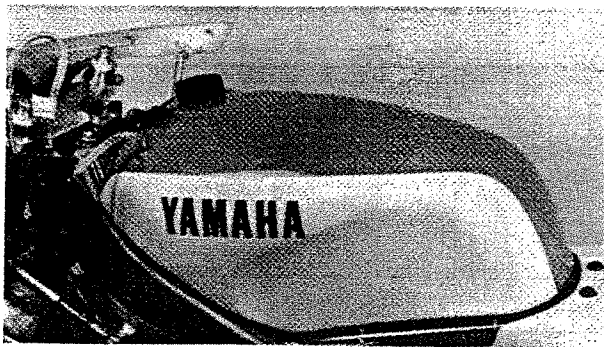
#### 部品交換時のならし

部品を交換した場合も、新車時と同様のならし運転、ならし走行が必要です。

特に下記エンジン関係部品を交換した場合は必ずならし走行を行なってください。

- シリンダ ○ピストン ○ピストンリング
- クランク ○クラッチ ○ミッションギヤ
- シフトフォーク

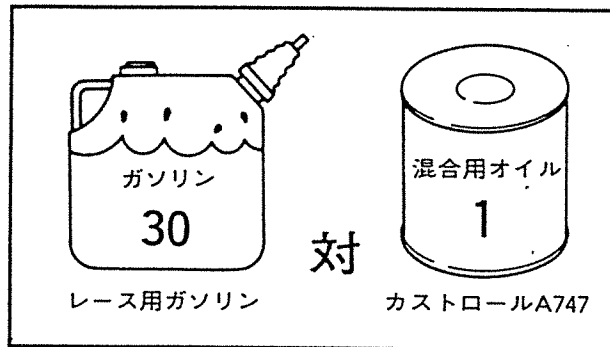
## 5) 使用燃料、オイル



### 燃料の給油

使用燃料はレース用ガソリンまたは、民間航空機用の市販ガソリンと混合用オイルを混合した混合ガソリンを使用してください。

タンク容量	約16ℓ
使用ガソリン	・レース用ガソリン ・民間航空機用の市販ガソリン
混合用オイル	・カストロールA747 ・カストロールR30
混 合 比	30対1 (但しR30は15:1)



### オイルと混合ガソリンの取扱い

植物性オイルは鉱物性オイルに比べてガソリンとの分離性が強いので、良くかくはんして混合してください。特に冬場での使用は念入りに十分に混合してから使用してください。

植物性オイルは鉱物性オイルに比べて酸化性が強く酸化すると潤滑性が低下するので一度缶を開けたものは一度に使用してください。


植物性オイルと鉱物性オイルの混合はしないでください。

混合したガソリンは長時間放置しておくと潤滑性が悪くなるので早目に使用してください。

走行後、余った燃料はタンクより抜き取ってください。

**注 意** ガソリンを補給する時は、必ずエンジンを止めて、こぼさないように慎重に行なうこと。  
また火気を近づけないこと。

### ミッションオイル

	指 定 オ イ ル	・カストロールR30 ・4サイクルモーターオイル20W 40(SAE相当品)
	オイル量	通常交換時 抜いた量(約900cm <sup>3</sup> ) エンジン分解時 950cm <sup>3</sup> (cc)

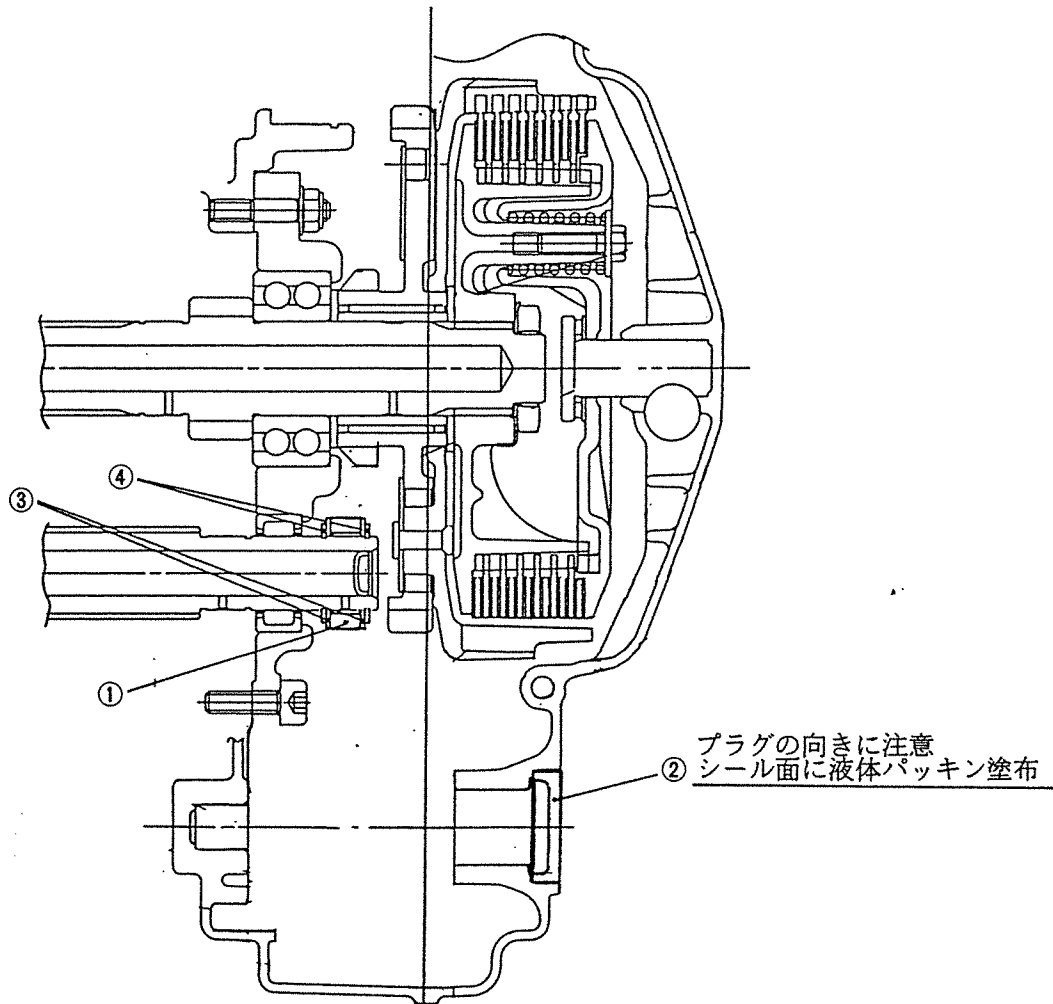
## 6) 各エンジンパーツの点検・交換一覧表

項 目	慣らし 走行後	走行毎	500km 走行毎	1000km 走行毎	必要に 応じ	備 考
ピストン 点検/清掃 交換	○	○	○		○	クラックの点検 カーボンの清掃
ピストンピン、スモールエンドベアリング 点検 交換	○	○		○	○	段付摩耗、クラック
ピストンリング 点検 交換	○	○	○		○	合口スキ間、偏摩耗の点検
シリンダヘッド 点検/清掃	○	○				歪み、ウォータジャケット内腐蝕 カーボン清掃
シリンダ 点検/清掃 交換	○	○			○	傷、摩耗の点検
Y. P. V. S バルブシャフト・ジョイント増締め バルブ作動点検	○ ○	○ ○				締付トルク 0.7kg・m
クラッチ 点検/調整 交換	○	○			○	ハウジングのガタ、段付摩耗の点検 クラッチプレート、フリクションプレ ート、クラッチスプリング点検
トランスミッション オイル交換 ミッション点検	○		○		○	オイル量 オイル交換時 抜いた量 (約900cm <sup>3</sup> ) O/H時 950cm <sup>3</sup> 摩耗の点検
シフトカム、フォーク 点検					○	摩耗の点検
ロータナット 締付				○		締付トルク 8.0kg・m
マフラ 点検 清掃	○	○			○	取付部その他クラックの点検
クランク 点検/交換				○	○	
キャブレタ 点検/調整/清掃	○	○				
スパークプラグ 点検/清掃 交換	○	○			○	
ドライブチェン 給油/遊び/整列の点検調整 交換	○	○		○		ドライブチェン遊び30~40mm
冷却装置 水量/水漏れ ラジエタキャップの機能 冷却水の交換 冷却水ホースの交換	○	○			○ ○ ○	ラジエタキャップテストで点検 水道の水 (飲料水)
外観のナット、ボルト類 増締	○	○				規定締付トルク
オイルポンプ オイルストレーナの清掃	○			○		
リードバルブ 点検 交換	○	○			○	

## 2. キットパーツの組込方法

### 1) キッククランクプラグの組込 (S・P, F-IIIキット)

スプリントレース用にキッククランクを外した場合は、オイル漏れ防止のための①SEALと②PLUGを組込んで下さい。



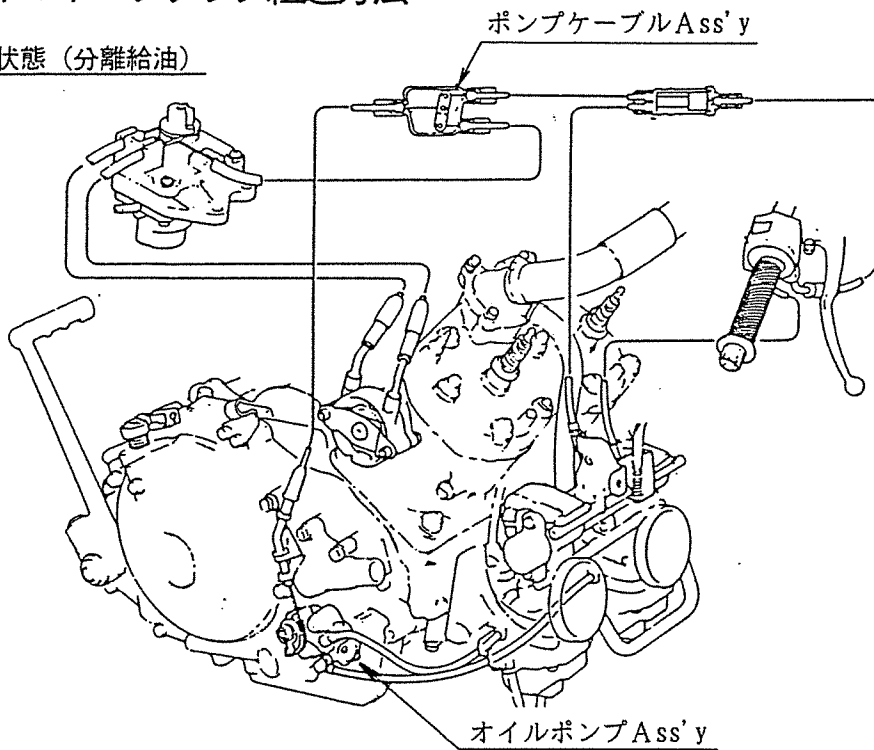
No.	PART No.	PART NAME		REMARKS
1	3MA-15663-70	SEAL	1	
☆	90338-30096	PLUG, BLIND	1	
☆	90201-20276	WASHER, PLAIN	(2)	
☆	99009-20400	CIRCLIP	(2)	

☆印部品については各ヤマハ販売店で購入して下さい。

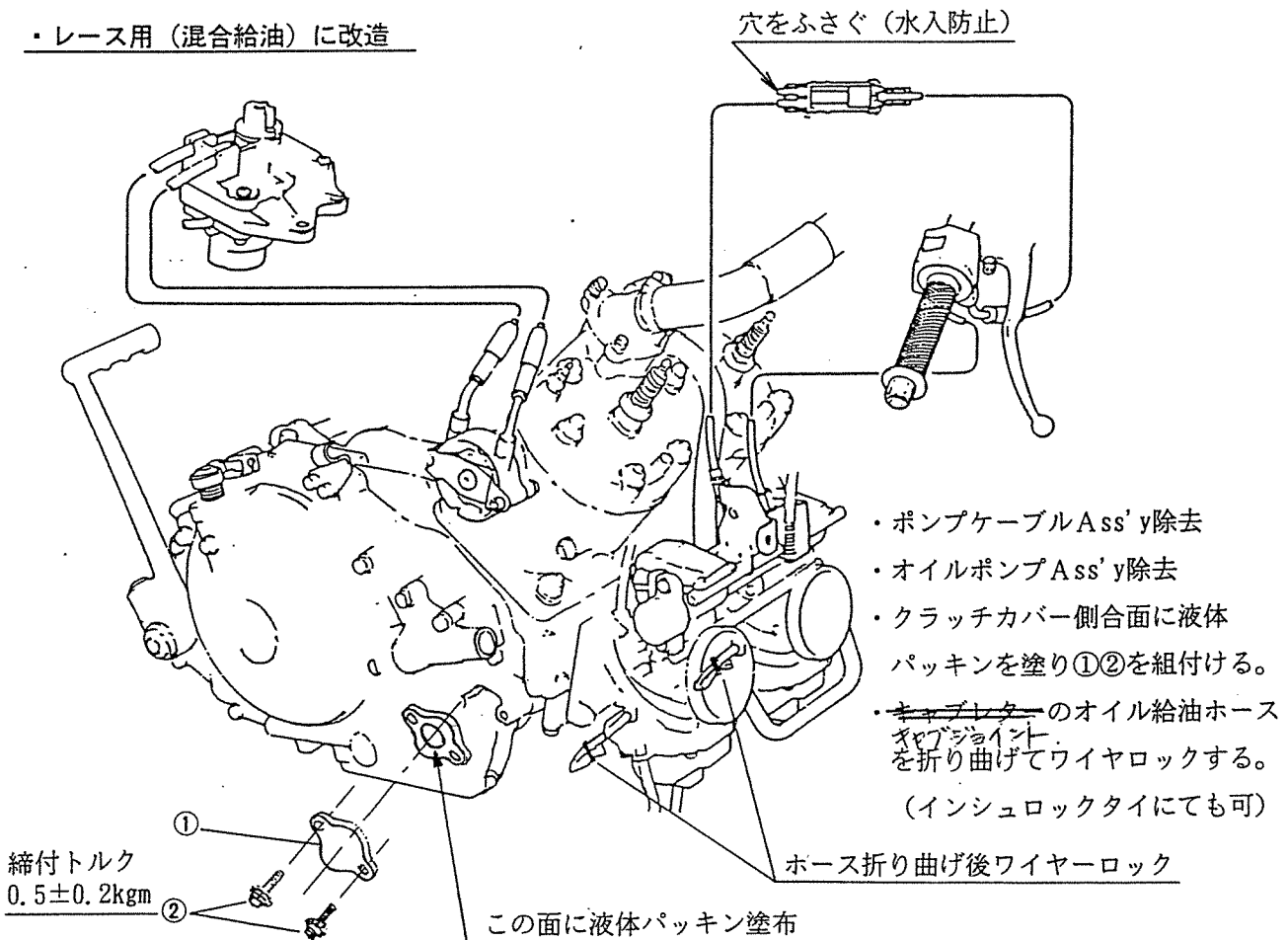
( ) はSTD車両のものをそのまま使用して下さい。

## 2) オイルポンプノックアップ組込方法

### ・STD状態 (分離給油)



### ・レース用 (混合給油) に改造



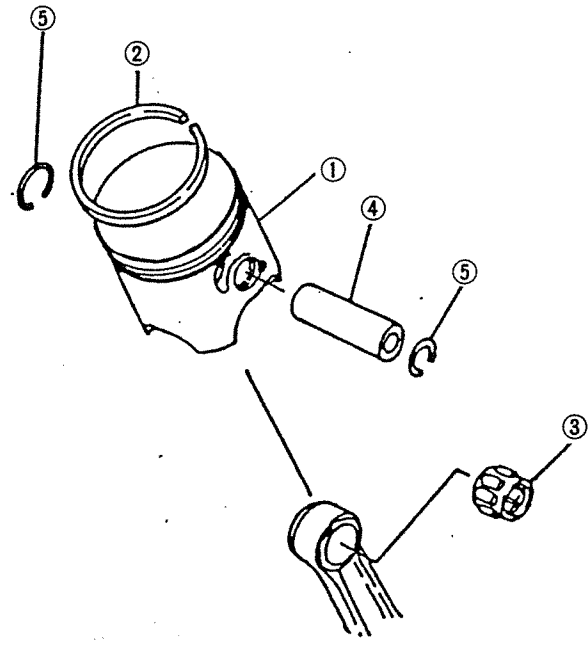
No.	PART No.	PART NAME	REMARKS
☆ 1	3MA-15426-70	COVER. 2	1
☆ 2	98501-05008	SCREW, PAN HEAD	2

☆印部品については各ヤマハ販売店で購入して下さい。

### 3) ピストン, ピストンリングの組込 (F-IIIキット)

本キットピストンは圧縮比アップと1本リングによるフリクション低減, さらに軽量化を実施しました。

圧縮比 = 8.1 (STD = 7.4)



No.	PART No.	PART NAME		REMARKS
	1	3MA-11631-70	PISTON	4
☆	2	1RK-11631-01	RING, PISTON	4
☆	3	93310-316H7	BEARING	(2)
☆	4	137-11633-10	PIN, PISTON	(2)
☆	5	3MA-11634-00	CLIP, PISTON PIN	4

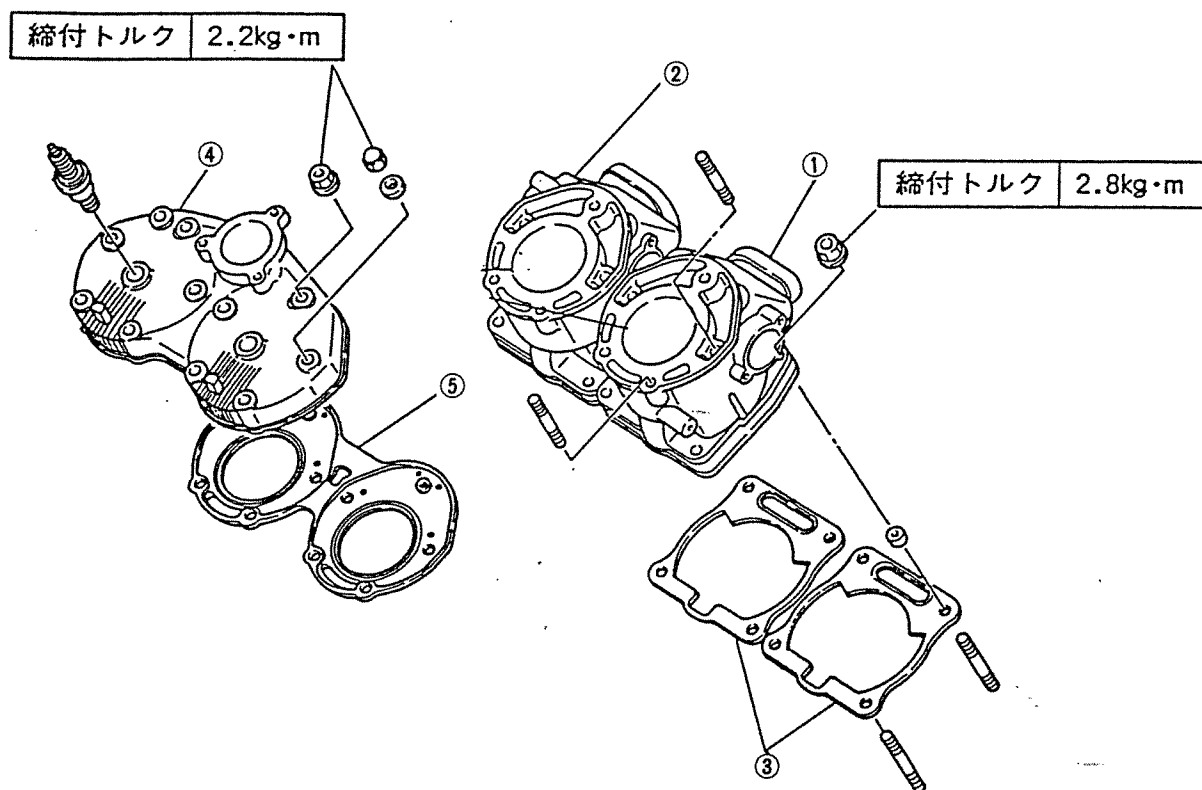
☆印部品については各ヤマハ販売店で購入して下さい。

( ) はSTD車両のものをそのまま使用して下さい。



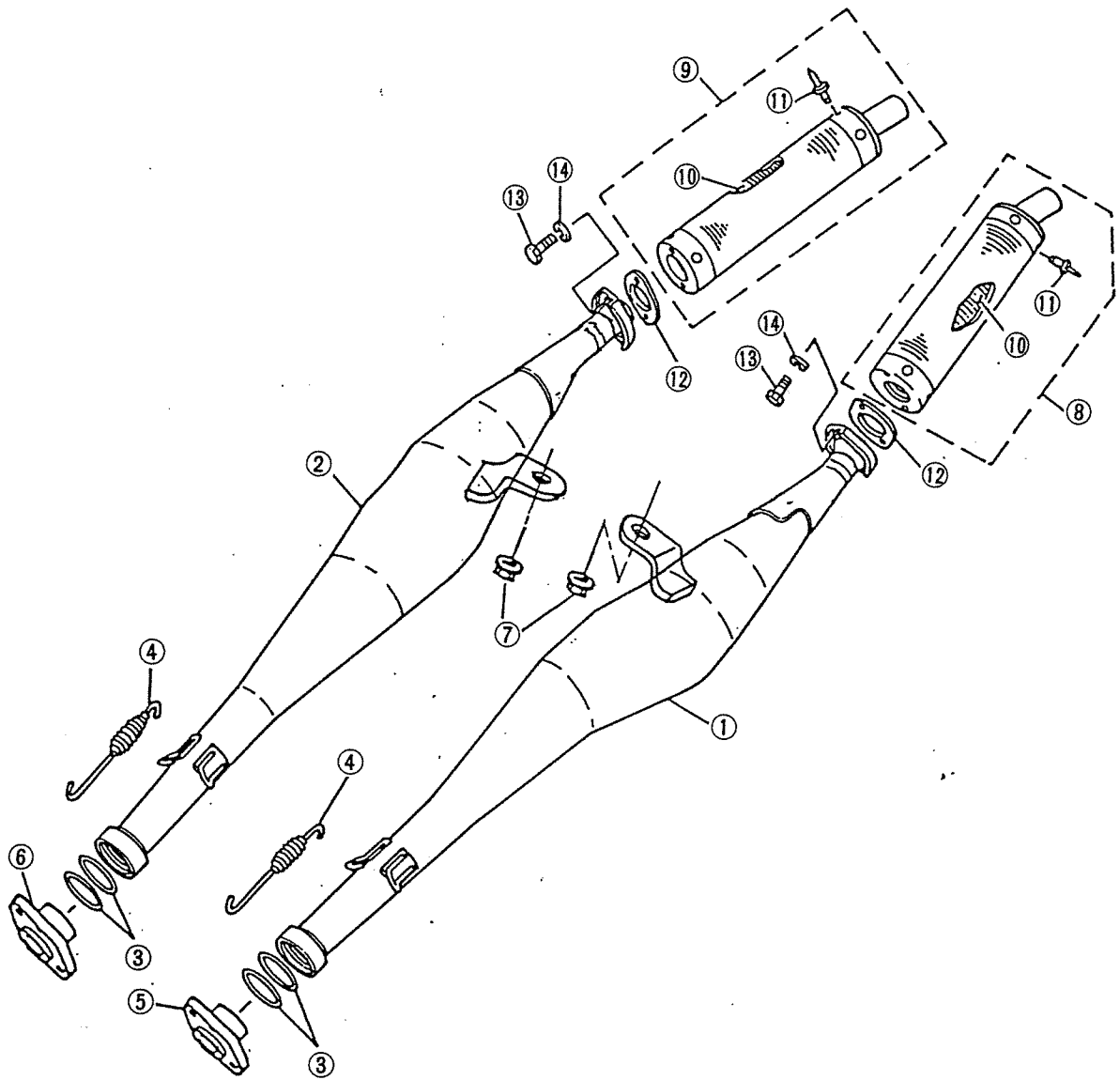
#### 4) シリンダー, シリンダーヘッドの組込 (F-IIIキット)

本キットはSTDに対してポート形状, タイミング等を変更しました。



No.	PART No.	PART NAME		REMARKS
1	3MA-11311-70	BODY, CYLINDER. 1	1	
2	3MA-11321-70	BODY, CYLINDER. 2	1	
☆	3MA-11351-00	GASKET, CYLINDER. 1	2	
4	3MA-11111-70	HEAD, CYLINDER. 1	1	
☆	3MA-11181-00	GASKET, CYL, HEAD	1	

☆印部品については各ヤマハ販売店で購入して下さい。



No.	PART No.	PART NAME	REMARKS	
1	3MA-14610-70/80	EXHAUST PIPE Ass'y	1 S・Pキット, F-IIIキット	
2	3MA-14620-70/80	EXHAUST PIPE Ass'y	1 S・Pキット, F-IIIキット	
☆	3	93210-46735	O-RING	4
☆	4	90507-20035	SPRING, TENTION	4
	5	3MA-14612-70	NUT, RING. 1	1
	6	3MA-14622-70	NUT, RING. 2	1
☆	7	95701-08500	NUT, FLANGE	2
☆	8	3LC-14753-00	SILENCER, EXHAUST	1
☆	9	3LC-14765-00	SILENCER, EXHAUST	1
☆	10	3LC-1469A-00	FIBER	2
☆	11	90267-48147	RIVET, BLIND	16
☆	12	3G2-14755-01	GASKET, SILENCER	2
☆	13	97011-06020	BOLT	4
☆	14	92990-06100	WASHER, SPRING	4

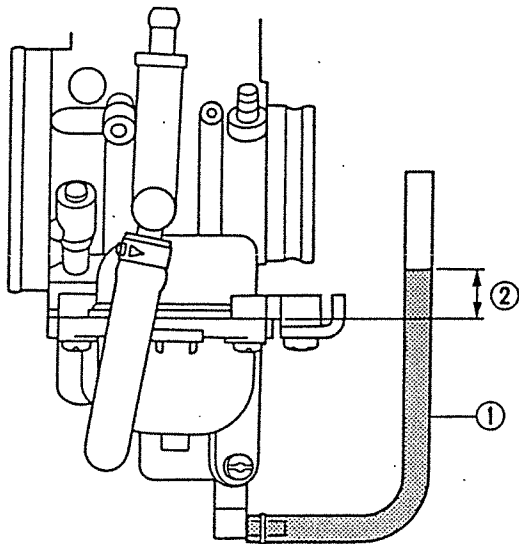
☆印部品については各ヤマハ販売店で購入して下さい。

## 6) キャブセッティングパーツの組込 (S・P, F-Ⅲキット)

レース用基本キャブセッティング表

項目	3MA STD	S・Pキット	F-Ⅲキット
キャブレター型式	TM32SS	←	←
ベンチレー口径	φ32	←	←
メインジェット	#150	(#290)(#300)(#310) #320(#330)(#340)(#350)	(#360)(#370)(#380) #390(#400)(#410)(#420)
メインエアジェット	$\frac{1}{2}$ #50 #150	(#40) #50 (#60)	←
ジェットニードル	6H8-63 (3段目)	J8-6 EN24-56 (3段目)	←
スロットルバルブ (C・A)	5.0	←	←
パイロットジェット	#15	#15 (#20)(#25)	←
ニードルジェット	Q-8	(0-4) (0-6) 0-8 (P-0) (P-2)	(0-6) (0-8) P-0 (P-2) (P-4)
スタータジェット	#80	←	←
フューエルレベル	5~7mm	←	←
パワージェット	#20	←	←
エアスクリーナー	$2\frac{1}{2}$ 戻し	2戻し	$1\frac{1}{2}$ 戻し

STDと同一の仕様については、STD車輛のものを使用して下さい。



### フューエルレベルの点検

- 以下の部品を取外す。
  - ・フロントアングボディ
- 以下の部品を組付ける。
  - ・フューエルレベルゲージ①  
ドレン排出口に組付ける。



フューエルレベルゲージ  
90890-01312

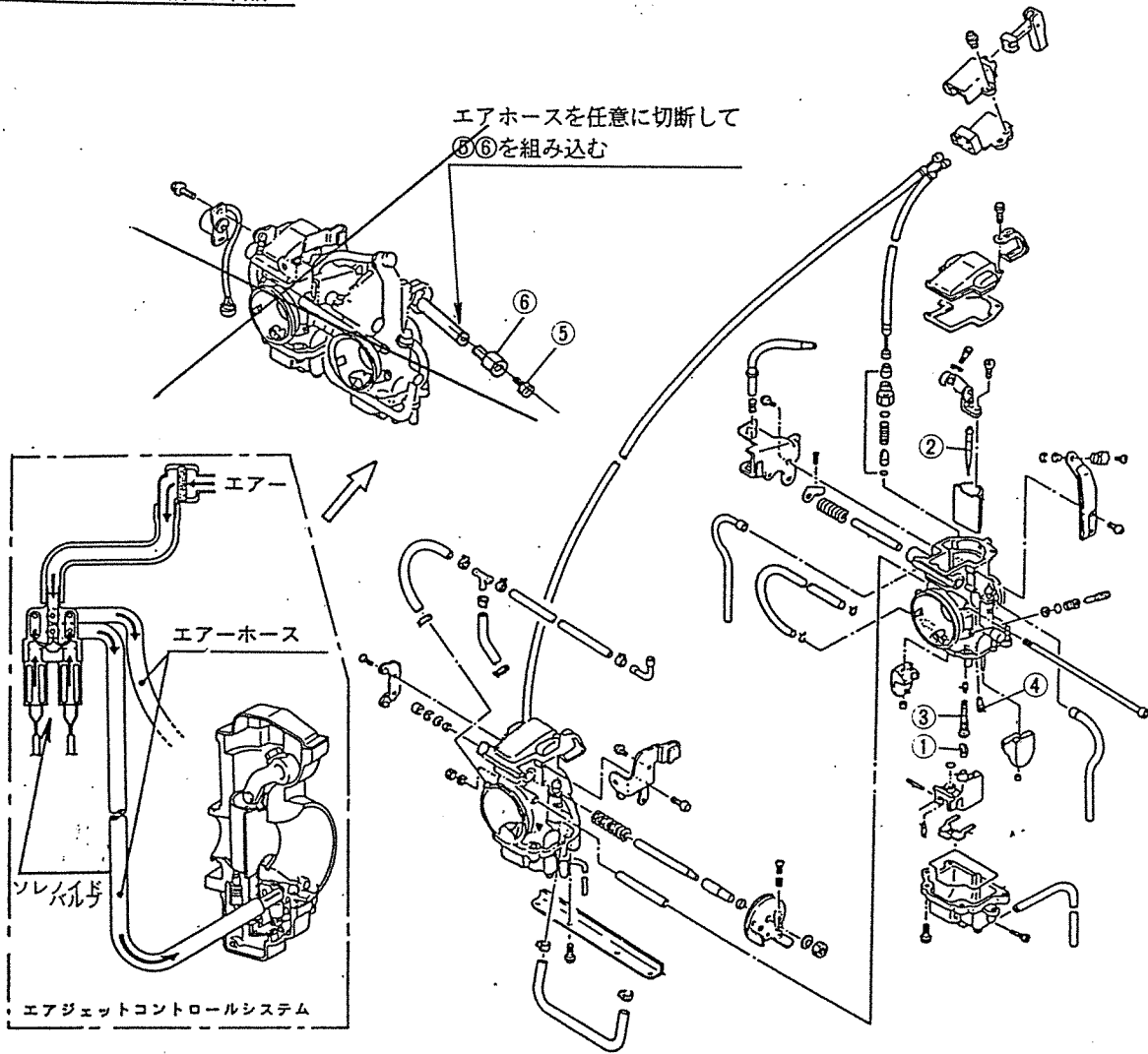
- 以下の点検をする。

- ・フューエルレベル②  
フューエルロックレバーを PRIの位置にしてドレンプラグをゆるめフロートチャンバボディの合面に合わせて油面を読みとる。



フューエルレベル  
5~7mm

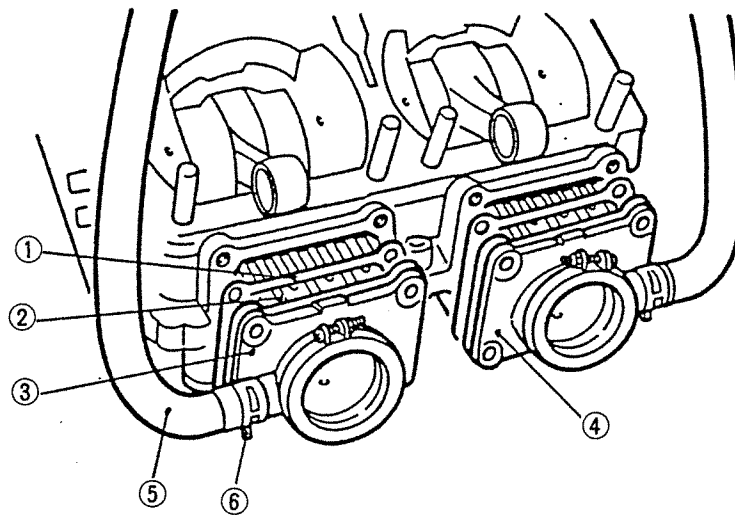
規定値以外→調整 (アームを曲げて調整)



No.	PART No	PART NAME	キット同梱数		REMARKS
			S・Pキット	F-Ⅲキット	
①		JET, MAIN #290	2	—	
		" #300	2	—	
		" #310	2	—	
		" #320	2	—	
		" #330	2	—	
		" #340	2	—	
		" #350	2	—	
		" #360	—	2	
		" #370	—	2	
		" #380	—	2	
		" #390	—	2	
		" #400	—	2	
		" #410	—	2	
	" #420	—	2		
②		JET, NEEDLE J8-6EN24-56	2	2	
③		NOZZLE, MAIN 0-4	2	—	
		" 0-6	2	2	
		" 0-8	2	2	
		" P-0	2	2	
		" P-2	2	2	
		" P-4	—	2	
④		JET, PILOT #15	—	—	S.TD車輛のものを使用
		" #20	2	2	
		" #25	2	2	
⑤		JET, MAIN AIR #40	2	2	
		" #50	—	—	S.TD車輛のものを使用
		" #60	2	2	
⑥	3MA-14303-70	COMPENSATOR	2	2	

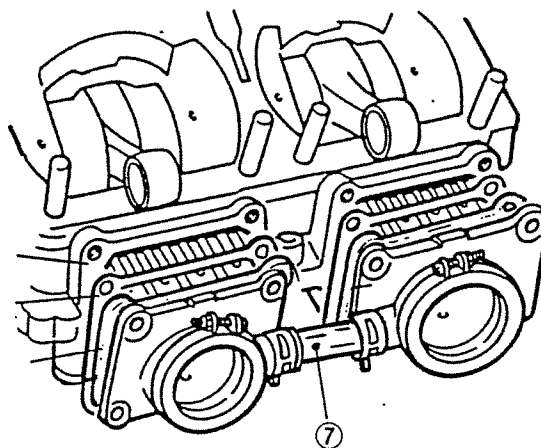
S・Pレース用

○STDの状態のまま使用



F-IIIレース用

- 1) ③と④のマニホールドを左右入れ替える
- 2) ⑤ホースを取り外し、⑦のパイプにて左右のマニホールドを連結する。
- 3) ⑥のクリップを止める。



No.	PART No.	PART NAME	REMARKS
☆ 1	3MA-13621-00	PKG, VALVE SEAT.1	(2)
☆ 2	3MA-13610-00	REED VALVE Ass'y	(2)
☆ 3	3MA-13565-00	MANIFOLD	(1)
☆ 4	3MA-13555-00	MANIFOLD	(1)
☆ 5	3MA-14423-00	PIPE, SUCTION	(1)
☆ 6	90467-16069	CLIP	(2)
7	3MA-14423-70	PIPE	1

☆印部品については各ヤマハ販売店で購入して下さい。

( ) はSTD車両のものをそのまま使用して下さい。

## キャブレタセッティングについて

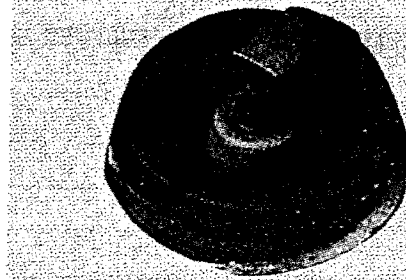
○燃料の役目は動力を発生する他にエンジンを冷却する役目と2サイクルエンジンでは潤滑の役目を持っています。従って、混合気(空気+燃料)が薄過ぎるとオーバーヒート、焼付きを起す結果となりまた濃過ぎるとスパークプラグがかぶって性能が十分発揮されなかったりエンジン停止を起す原因となります。

○エンジンの要求する混合気の濃度は気象状況により異なり、その日の気象状況(気圧、湿度、温度)によって適正なキャブレタのセッティングが必要です。

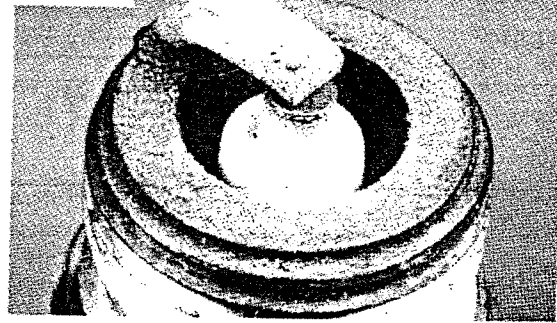
○最終的には、あくまでも本人が走行した上で、走行状態(エンジン回転の上り具合、路面の状態)とプラグの焼け具合による総合判断のもとに最良のセッティングにする必要があります。

※その時のセッティングの内容を、気象状況、路面状況、ラップタイム等と共にメモしておき、後々の参考データとすること。

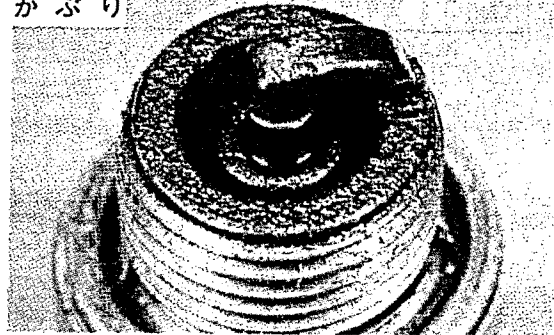
適 正



焼け過ぎ



かぶり



## 参考

- 気象条件による変化の傾向
- 冷たい空気……薄くなる→濃くする。
- 暖かい空気……濃くなる→薄くする。
- 湿った空気……濃くなる→薄くする。
- 乾いた空気……薄くなる→濃くする。
- 標高 高い……濃くなる→薄くする。

## 走行点検

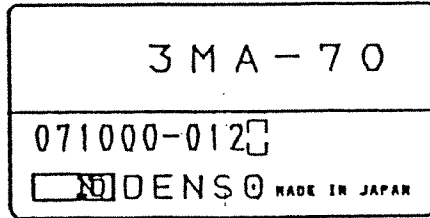
キャブレタ、スパークプラグを標準仕様のまま暖機運転後コースを2~3周走行して、エンジンのツキ(吹き上り)具合およびスパークプラグの焼け具合を見ます。

焼け具合	スパークプラグの状態
適 正	碍子が乾いており茶褐色になっている。
焼け過ぎ	碍子が白っぽくなっている。
かぶり	碍子が黒く湿っぽい。

スロットルバルブ開度によるセッティング  
パーツの影響範囲

セ ッ テ ィ ン グ パ ー ツ	スロットルバルブ開度					
	0	1/8	1/4	1/2	3/4	1
エアスクリュ	■					
パイロットジェット	▴					
メインノズル ジェットニードル	▾					
メインジェット	▴					
パワージェット	▾					

STDのC. D. Iユニットはスピードリミッターを内蔵しているためレース用にはリミッターを解除したキット品を使用して下さい。



STDイグナイターとの識別に注意して下さい。

No.	PART No.	PART NAME		REMARKS	
	1	3MA-85540-70	C. D. I UNIT Ass'y	1	
☆	2	90179-06524	NUT	2	C. D. Iユニット取付用
☆	3	97601-06225	SCREW	2	"

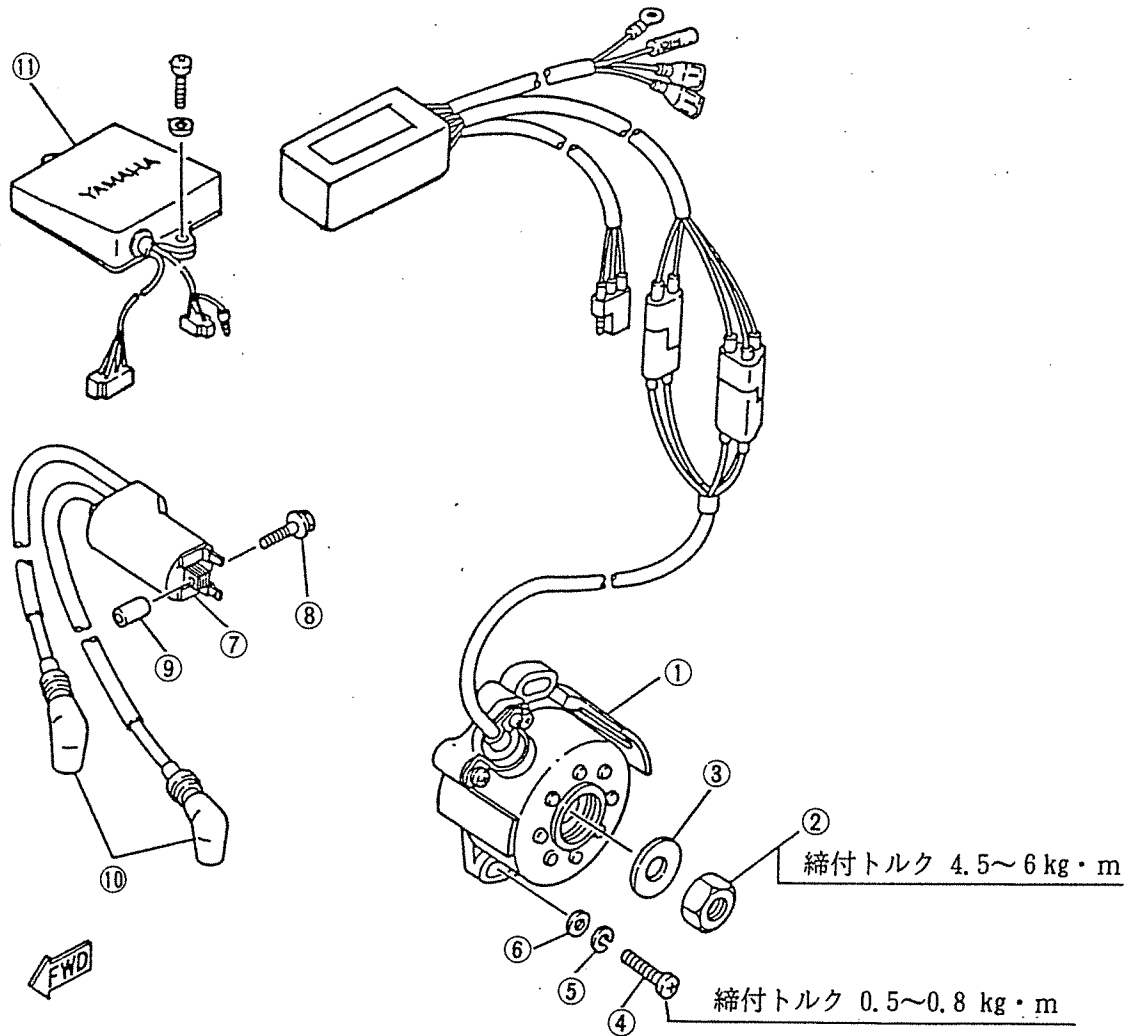
☆印部品については各ヤマハ販売店で購入して下さい。



## 8) C. D. I マグネットアッセンブリーの交換 (F-IIIキット)

本品はF-IIIレース用としてSTDに対して点火時期の変更, フライホイール慣性モーメントの低減, 軽量化をしています。

また Y. P. V. Sの作動特性もエンジン特性に合わせて変更しました。



No.	PART No.	PART NAME	REMARKS
1	3MA-85501-70	C. D. I MAGNETO SET	1
☆ 2	90179-12335	NUT	1
☆ 3	90201-127E1	WASHER, PLATE	1
☆ 4	92501-06020	SCREW	2
☆ 5	92990-06100	WASHER, SPRING	2
☆ 6	92901-06600	WASHER, PLATE	2
☆ 7	1RK-82310-K0	IGNITION COIL Ass'y	1
☆ 8	95021-06045	BOLT	2
☆ 9	90387-06605	COLLAR	2
☆ 10	1M1-82370-21	PLUG CAP Ass'y	2
11	3MA-85830-70	CONTROL UNIT Ass'y	1

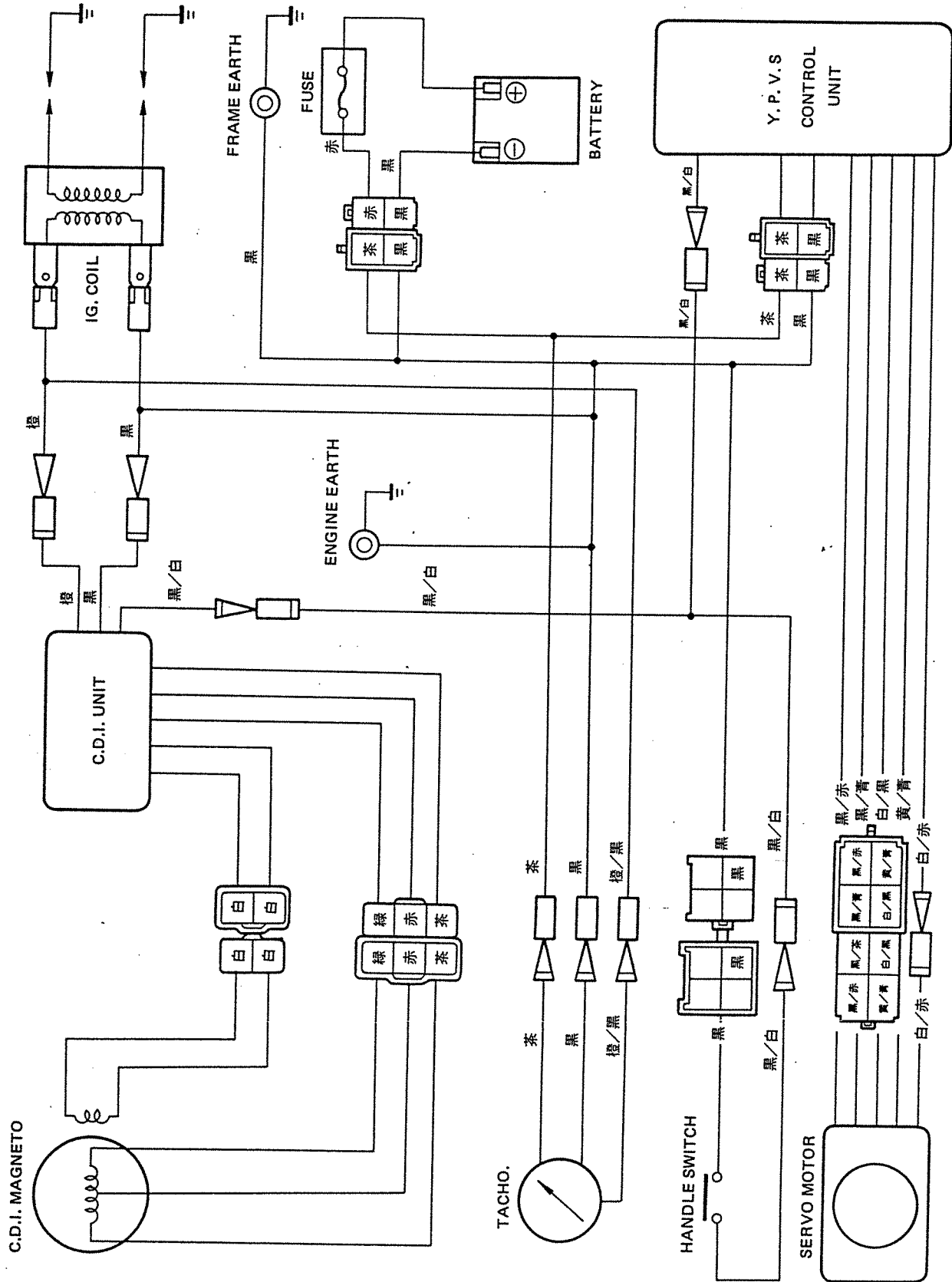
☆印部品については各ヤマハ販売店で購入して下さい。

本ワイヤハーネスキットは軽量化したレース専用のもとなっています。STD同様の通し方で組付けて下さい。

(結線図はP 2 2, 2 3を参照)

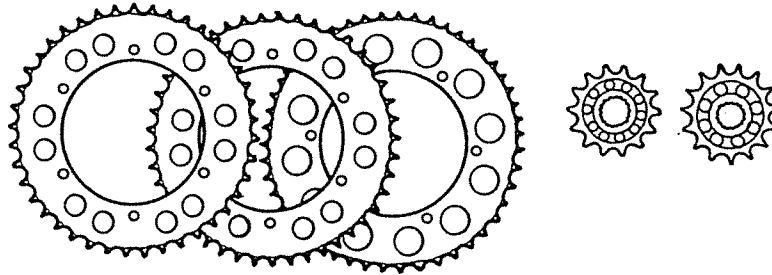
No.	P A R T No.	PART NAME		REMARKS
	3MA-82590-R0	WIRE HARNESS Ass'y	1	S・P用
	3MA-82590-70	WIRE HARNESS Ass'y	1	F-Ⅲ用





### 10) ドライブ, ドリフンスプロケットの組込 (S・P, F-IIIキット)

コース条件, 気象条件等により2次減速比を選定して下さい。ドライブチェーンは520サイズを使用して下さい。(STDと同一)

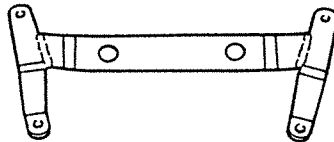


	P A R T No.	PART NAME		REMARKS
☆	9383E-15082	SPROCKET DRIVE	1	15T
☆	9383E-16106	"	1	16T
	1KT-25440-70	SPROCKET DRIVEN	1	40T
	1KT-25441-70	"	1	41T
	1KT-25442-70	"	1	42T

☆印部品については各ヤマハ販売店で購入して下さい。

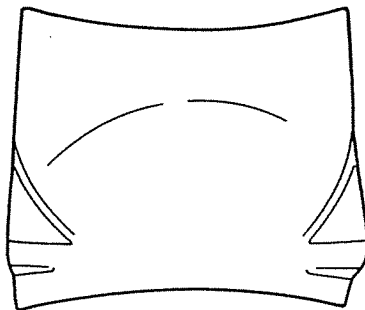
### 11) ヘッドライト取りはずしステーの組込 (S・Pキット)

STD車両はヘッドランプがカウリングのステーを兼ねているためレース用にヘッドランプをはずす場合は本キットステーを使用して下さい。



No.	P A R T No.	PART NAME		REMARKS
	3MA-28356-70	STAY. 1	1	

### 12) フロントゼッケンプレートの組込 (S・Pキット)

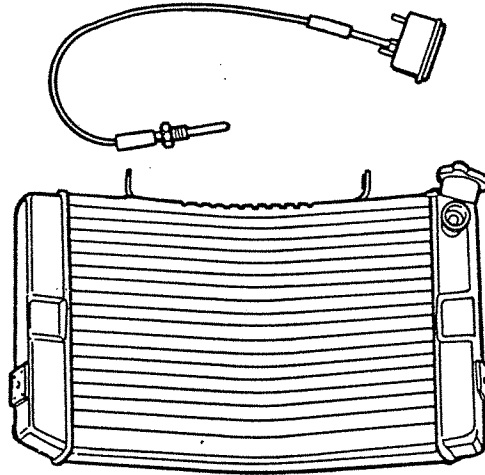


No.	P A R T No.	PART NAME		REMARKS
	3MA-28365-70	COVER	1	

### 3. オフションキットパーツの組込方法

#### 1) 大型ラジエターの組込 (S・P, F-Ⅲキット)

STDラジエターに対して放熱量を30%アップしました。またラジエターキャップは開弁圧の高いタイプを採用し、専用水温計もキットセットに同梱しました。



No.	P A R T No.	PART NAME		REMARKS
		RADIATOR SET	1	
1	3MA-12460-70	RADIATOR Ass'y	1	
☆	4A0-83590-00	WATER TEMPERATURE Ass'y	1	
☆	93210-10118	O-RING	1	

その他のラジエター廻りの部品はSTD車両のものを使用して下さい。

☆印部品については各ヤマハ販売店で購入して下さい。

#### 2) タコメーターの組込 (S・P, F-Ⅲキット)

STDタコメーターに対して精度, 追従性をさらに向上させました。



No.	P A R T No.	PART NAME		REMARKS
1	3MA-83540-70	TACHOMETER Ass'y	1	



		3MA-17420-70	DRIVE AXLE ASS'Y	1	
☆	1	93311-62035	BEARING	(1)	
☆	2	99009-20400	CIRCLIP	2	
☆	3	90201-20276	WASHER, PLATE	2	
☆	4	5F7-17211-10	G 1 W	1	28T
☆		5F7-17211-20	G 1 W	1	オプションパーツ 34T
☆	5	93310-22057	BEARING	1	
☆	6	5F7-17261-01	G 6 W	1	20T
☆	7	93440-25084	CIRCLIP	6	
☆	8	5F7-17136-00	WASHER	2	
☆	9	5F7-17241-00	G 4 W	1	27T
☆	10	5F7-17231-10	G 3 W	1	26T
☆		5F7-17231-20	G 3 W	1	オプションパーツ 25T
☆	11	93440-25084	CIRCLIP	6	
☆	12	5F7-17251-01	G 5 W	1	26T
☆	13	90201-253K0	WASHER, PLATE	2	
☆	14	5F7-17221-10	G 2 W	1	31T
☆		5F7-17221-20	G 2 W	1	オプションパーツ 27T
	15	3MA-17421-70	AXLE DRIVE	1	
☆	16	93305-20502	BEARING	1	
☆	17	93102-35426	OIL SEAL	(2)	
☆	18	90387-257V2	COLLAR	(1)	
	19	93210-25755	O-RING	(1)	
	20		SPROCKET, DRIVE	(1)	P25参照
☆	21	90215-21256	WASHER, TONGUED	(1)	
☆	22	90179-20255	NUT	(1)	
		3MA-17410-70	MAIN AXLE ASS'Y	1	
☆	23	93311-42006	BEARING	(1)	
☆	24	93305-20507	BEARING	(1)	
☆	25	168-17428-01-03	SHIM	1	
	26	3MA-17411-70	AXLE MAIN	1	14T
		3MA-17411-80	AXLE MAIN	1	オプションパーツ 18T
☆	27	5F7-17161-01	G 6 P	1	22T
☆	28	5F7-17131-10	G 3, 4 P	1	21T, 25T
☆		5F7-17131-20	G 3, 4 P	1	オプションパーツ 21T, 25T
☆	29	5F7-17151-01	G 5 P	1	27T
☆	30	5F7-17121-10	G 2 P	1	21T
☆		5F7-17121-20	G 2 P	1	オプションパーツ 19T
☆	31	90201-20276	WASHER PLATE	2	

☆印部品については各ヤマハ販売店で購入して下さい。

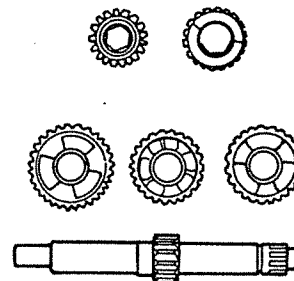
( ) はSTD車両のものをそのまま使用して下さい。

上表のオプションギヤ (計6種) は「ミッションレシオ変更パーツセット」として別売です。

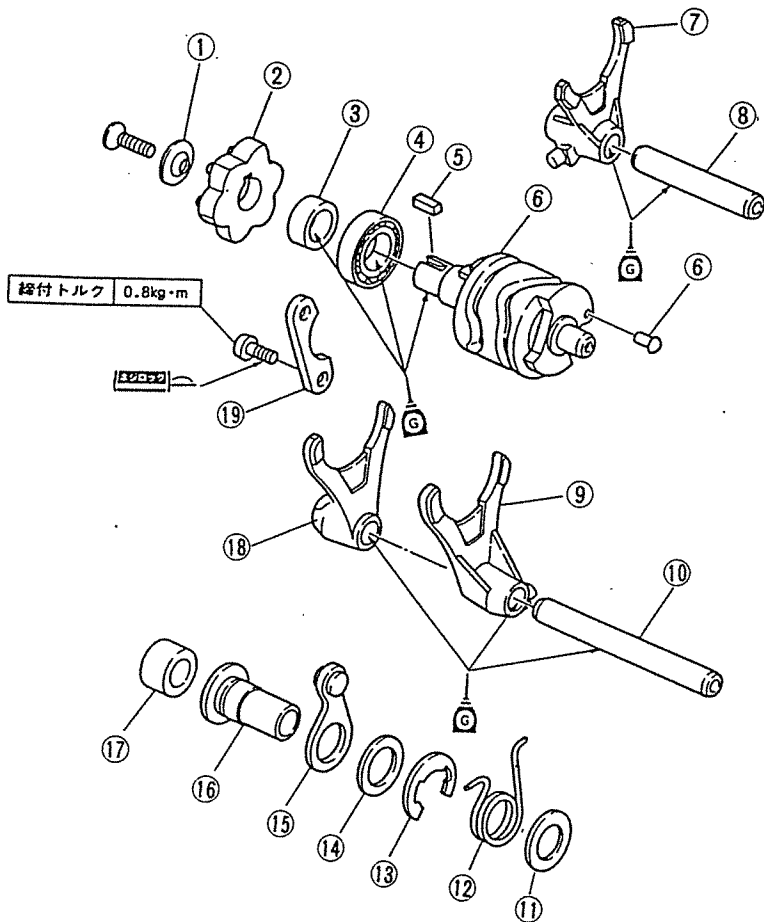
### ミッションギヤレシオ比較表

	標準レシオ	クロスミッションレシオ	レシオ変更キット
1速	34/14=2.428	28/14=2.000	34/18=1.889
2速	30/17=1.764	31/21=1.476	27/19=1.421
3速	24/18=1.333	26/21=1.238	25/21=1.190
4速	25/22=1.136	27/25=1.080	—
5速	24/24=1.000	26/27=0.963	—
6速	20/22=0.909	20/22=0.909	—

### ミッションレシオ変更パーツセット







**注意**

- ・本キットはクロスミッションキットとセットで使用して下さい。
- ・クロスミッションキットにはシフトフォークキットが含まれています。

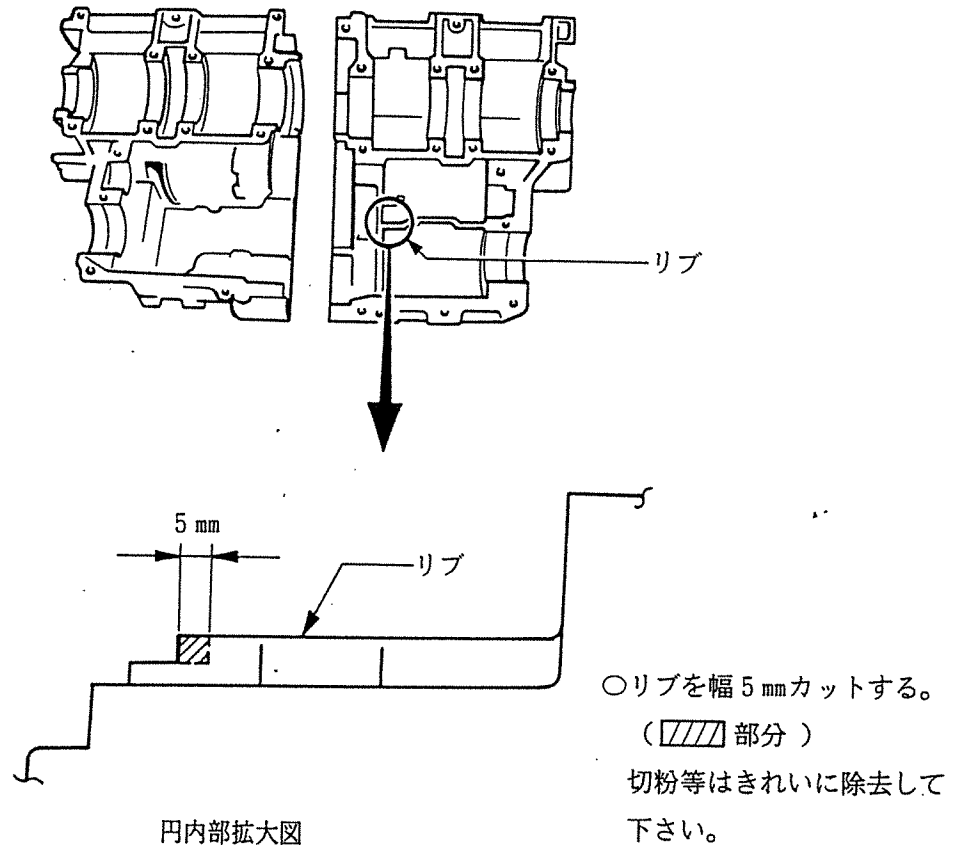
	No.	PART No.	PART NAME		REMARKS
☆	1	3R4-18561-00	PLATE SIDE. 1	(1)	
☆	2	3MA-18185-00	SEGMENT	(1)	
☆	3	3MA-18581-00	SPACER. 1	(1)	
☆	4	93306-90301	BEARING	(1)	
☆	5	90282-04036	KEY, STRAIGHT	(1)	
☆	6	3MA-18540-00	SHIFT CAM Ass'y	(1)	
☆	7	3MA-18512-00	FORK, SHIFT. 2	(1)	
☆	8	3MA-18531-00	BAR, SHIFT FORK GUIDE. 1	(1)	
	9	3MA-18511-70	FORK, SHIFT. 1	1	
☆	10	34K-18535-00	BAR, SHIFT FORK GUIDE. 2	(1)	
☆	11	90201-154E8	WASHER, PLAIN	(1)	15.2×24.0
☆	12	90508-23787	SPRG, TORSION	(1)	
☆	13	99009-17400	CIRCLIP	(1)	
☆	14	90201-177G4	WASHER, PLAIN	(1)	17.3×25.0
☆	15	3MA-18140-00	STOPPER LEVER Ass'y	(1)	
☆	16	90560-05089	SPACER	(1)	
☆	17	90387-127V3	COLLAR	(1)	
	18	3MA-18513-70	FORK, SHIFT. 3	1	
☆	19	3MA-18562-00	PLATE STOPPER. 2	(1)	

☆印部品については各ヤマハ販売店で購入して下さい。

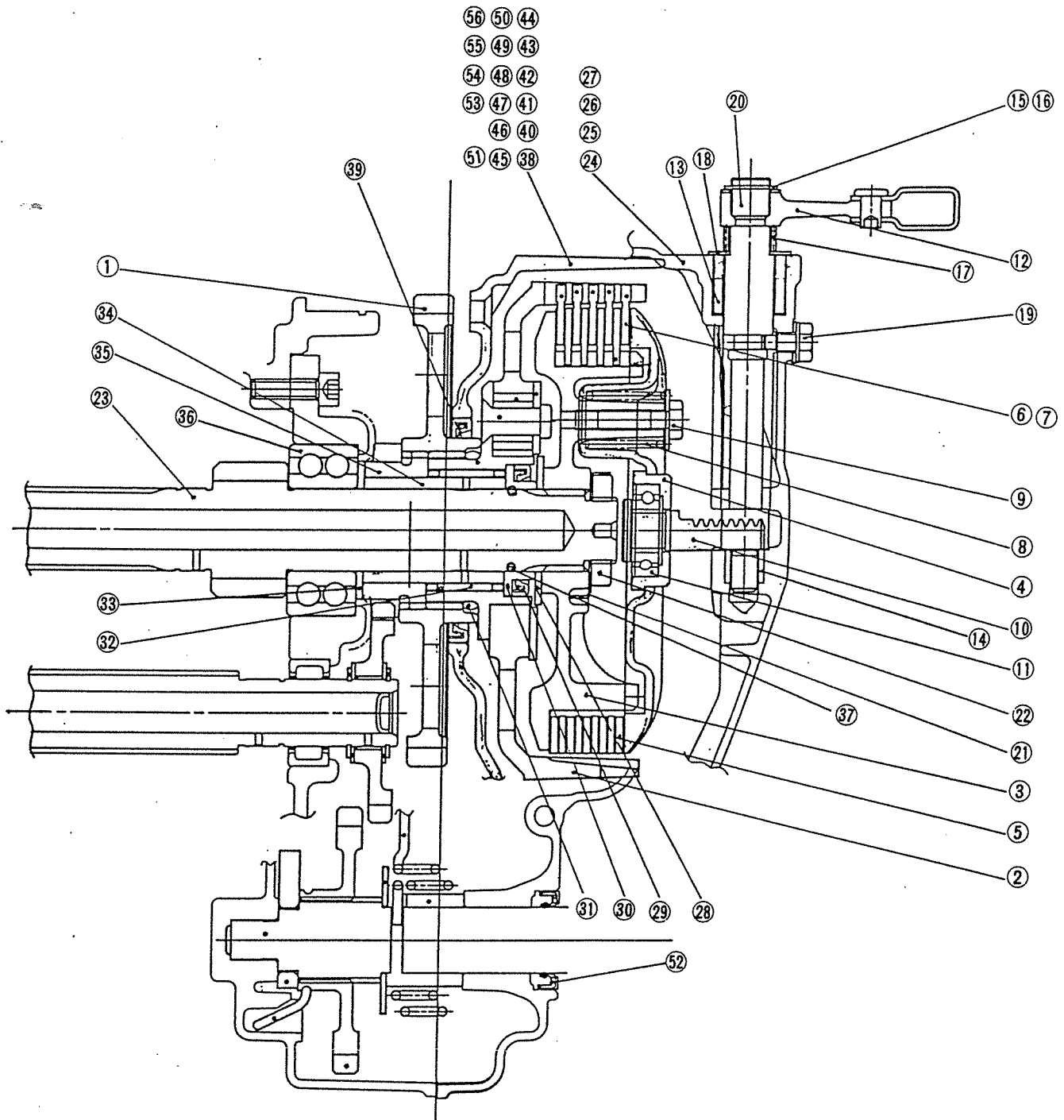
( ) はSTD車両のものをそのまま使用して下さい。

オプションのクロスミッションを組み込む場合、クランクケースアッパーの上面リブと  
G. 1. Wギヤが当るため、クランクケースのリブを図のようにカットして下さい。

ケース, アッパー



#### 4) 乾式クラッチの組込 (F-IIIキット)



○本キットには専用クロスミッションセット (含むシフトフォークキット), ミッションレシオ変更パーツセットが含まれています。

#### 注意

1. オイルシール及びO-リングの摺動面には、グリスを塗布してから組み込んで下さい。
2. ⑤⑥⑦の組込時にはオイルが付着しない様に注意して下さい。
3. 各オイルシールのリップのかえりに注意して下さい。

No.	P A R T No.	PART NAME		REMARKS	
	1	3MA-16151-70	GEAR, PRIMARY DRIVEN	1	
☆	2	5F7-16310-00	CLUTCH HOUSING Ass'y	1	
☆	3	26J-16371-00	BOSS, CLUTCH	1	
	4	3MA-16351-70	PLATE, PRESSURE. 1	1	
☆	5	3J2-16324-00	PLATE, CLUTCH. 1	4	
☆	6	383-16321-10	PLATE, FRICTION. 1	2	
☆	7	3AK-16321-00	PLATE, FRICTION. 1	3	
☆	8	90501-23138	SPRING, COMPRESSION	6	
☆	9	90159-06016	SCREW, W/WASHER	6	
	10	3MA-16356-70	ROD, PUSH	1	
	11	3MA-90101-70	BEARING	1	
☆	12	4G0-16340-01	PUSH LEVER Ass'y	(1)	
☆	13	93315-31502	BEARING	1	
☆	14	93315-10838	BEARING	1	
☆	15	99009-10400	CIRCLIP	(1)	
☆	16	90201-10119	WASHER, PLATE	(1)	
☆	17	90508-14767	SPRING, TORSION	(1)	
☆	18	90201-12474	WASHER, PLATE	(1)	
☆	19	90109-06418	BOLT	(1)	
☆	20	3JD-16382-00	AXLE, PLUSH	1	
☆	21	90215-20212	WASHER, TONGUED	1	
☆	22	90170-20255	NUT	1	
	23	3MA-17411-A0	AXLE, MAIN	1	14T
		3MA-17411-B0	AXLE, MAIN	1	オプションパーツ18T
	24	3MA-15416-70	HOUSING PUSH AXLE	1	
☆	25	91311-06020	BOLT, SOCKET	5	
☆	26				
☆	27	91311-06060	BOLT, SOCKET	1	
	28	5F7-16153-00	WASHER, THRUST	1	
☆	29	93102-30243	SEAL, OIL	1	
	30	5F7-16182-00	SPACER. 2	1	このパーツは単品販売しておりません。
☆	31	93210-42482	O-RING	1	
☆	32	93310-332J5	BEARING	1	
☆	33	2K7-16154-00	PLATE, THRUST	(1)	
	34	3MA-16181-70	SPACER. 1	1	
	35	3MA-15631-70	GEAR, KICK PINION	1	
☆	36	93305-20507	BEARING	(1)	
☆	37	93210-22164	O-RING	1	

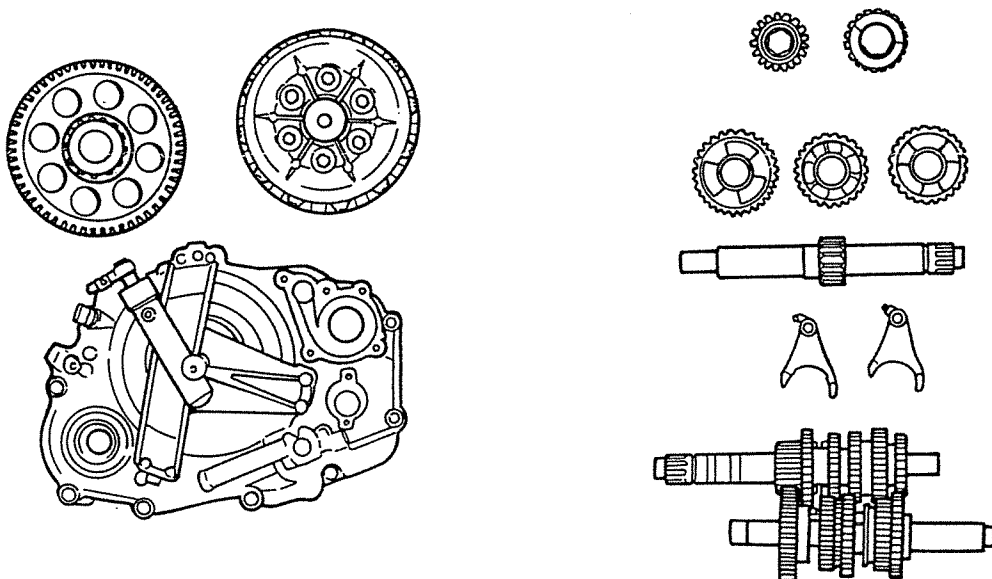
	38	3MA-15421-70	COVER, CRANK CASE. 2	1	
☆	39	93101-56095	SEAL, OIL	1	
☆	40	93606-12019	PIN, DOWEL	2	
☆	41	90338-06041	PLUG	1	
☆	42	90430-06166	GASKET	1	
☆	43	2T4-15363-00	PLUG, OIL	1	
☆	44	93210-14104	O-RING	1	
☆	45	3MA-15461-00	GSKT, CRANK CASE COVER. 2	1	
☆	46	93103-12119	SEAL, OIL	1	
☆	47	3MA-12428-00	GSKT, HOUSING COVER	1	
☆	48	90430-08198	GASKET	(1)	
☆	49	93210-19123	O-RING	(1)	
☆	50	93210-07003	O-RING	(2)	
☆	51	90430-06014	GASKET	(1)	
☆	52	93102-20108	SEAL, OIL	1	
☆	53	90338-30096	PLUG, BLIND	1	キックシャフト穴用
	54	3MA-15663-70	SEAL	1	キックアイドル部
	55	3MA-15426-70	COVER. 2	1	オイルポンプシャフト部
☆	56	98501-05008	SCREW	2	

☆印部品については各ヤマハ販売店で購入して下さい。

( ) はSTD車両のものをそのまま使用して下さい。

○乾式クラッチセットには上表パーツ (No.1~56) 以外にクロスミッションセット (P-28  
パーツ表のNo.1~31) とシフトフォークキット (P-29パーツ表のNo.9, 18) が含まれて  
います。

### 乾式クラッチセット



### 5) フロントフォークスプリングの組込 (S・P, F-Ⅲキット)

サーキット走行に対応してSTDより約10%バネレートを高く設定しました。



No.	P A R T No.	PART NAME		REMARKS
1	3MA-23141-70	SPRING FRONT FORK	2	

### 6) リヤサススプリングの組込 (S・P, F-Ⅲキット)

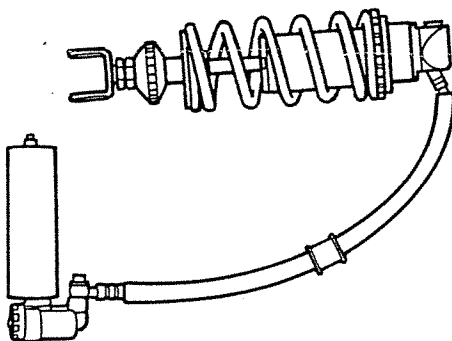
フロントフォークスプリング同様STDより約10%バネレートを高く設定しました。



No.	P A R T No.	PART NAME		REMARKS
1	3MA-22212-70	SPRING	1	

### 7) リヤショックアブソーバーの組込 (F-Ⅲキット)

STDに対してスプリングを強化し、圧側の減衰力アジャスターを追加しました。またボディをアルミ製として軽量化を図り、セッティングが容易にできるように車高調整機構を設定しました。



減衰力調整 (圧側, 伸側)  
 右廻し → 強くなる  
 左廻し → 弱くなる  
 出荷時位置をベースに調整して下さい。

No.	P A R T No.	PART NAME		REMARKS
1	3MA-22210-70	SHOCK ABSORBER ASS'y REAR	1	

# 4. 整備資料

## 1) 締付トルク一覧表

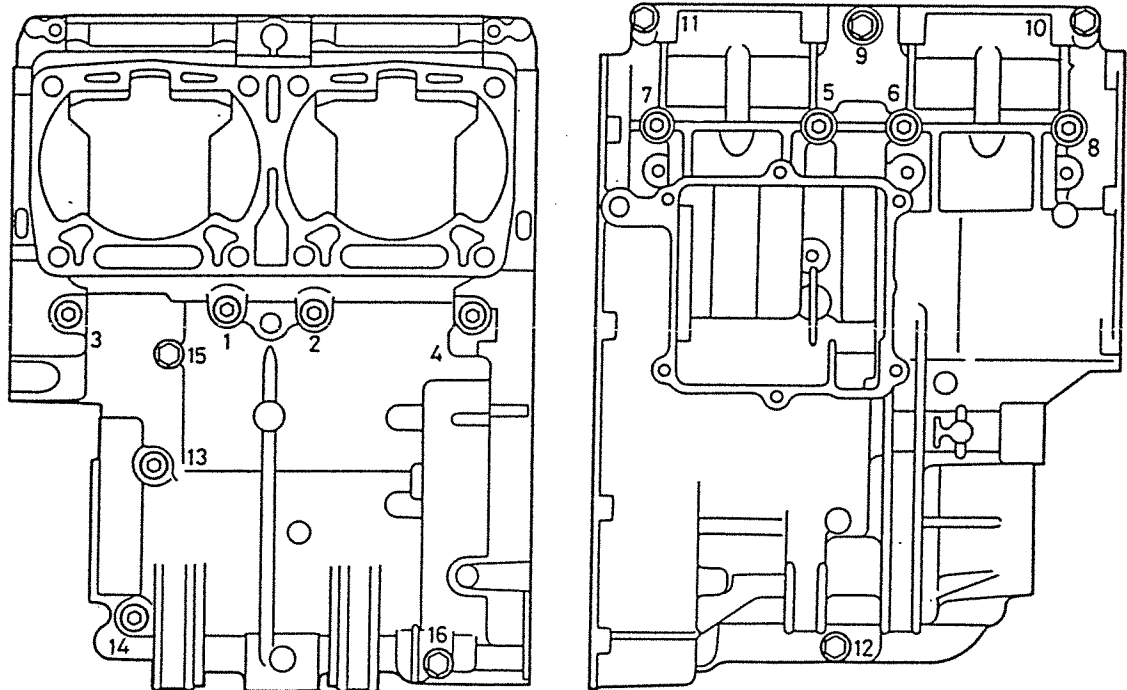
エンジン

(単位kg・m)

締付箇所	ネジ径×ピッチ	個数	締付トルク	備考
シリンダヘッド締付	M8×1.25	10	2.2	
スパークプラグ	M14×1.25	2	2.0	
シリンダ締付	M8×1.25	8	2.8	
キャップシール締付	M5×0.8	2	0.7	
カバー締付	M5×0.8	2	0.7	
バルブ1、2締付	M5×0.8	2	0.7	トルクオーバに注意
プーリ締付	M6×1.0	1	1.0	
スラストプレート締付	M5×0.8	2	0.7	
ホルダ1締付	M5×0.8	1	0.7	
ジョイント1、2締付	M5×0.8	2	0.7	
ワイヤプーリ締付	M6×1.0	1	0.8	
ポンプドライブギヤ締付	M12×1.25	1	5.0	
ハウジングカバー締付	M6×1.0	5	1.0	
ジョイント1締付	M6×1.0	2	0.8	
ウォータポンプドレンボルト	M8×1.25	1	1.6	
ラジエタ締付	M6×1.0	3	0.6	
サーモスタットカバー締付	M6×1.0	3	1.0	
温水用ユニットボルト	M6×1.0	2	0.8	
ストッパ締付	M5×0.8	1	0.5	
オイルポンプ締付	M5×0.8	2	0.5	
デリバリパイプ1締付	M5×0.8	2	0.5	ネジロック使用
ストレナーカバー締付	M5×0.8	2	0.5	ネジロック使用
マニホールド締付	M6×1.0	8	1.0	
スタータレバー締付	M4×0.7	2	0.3	トルクオーバに注意
クリーナ締付	M6×1.0		0.5	
サイレンサ締付	M6×1.0	1	0.5	吸気
マフラ締付	M8×1.25	8	1.8	
クランクケース1、2締付	M8×1.25	8	2.4	
クランクケース1、2締付	M8×1.25	2	1.0	
クランクケース1、2締付	M6×1.0	7	1.0	
ゼネレータカバー締付	M6×1.0	7	0.5	樹脂カバー
チェンカバー締付	M6×1.0	3	0.5	樹脂カバー
クランクケース3締付	M6×1.0	6	1.5	
クランクケースカバー2締付	M6×1.0	9	1.0	
カバー1 (オイルパン) 締付	M6×1.0	6	1.0	

締付箇所	ネジ径×ピッチ	個数	締付トルク	備考
オイルドレンボルト	M10×1.25	2	2.2	
クラッチケーブルホルダ締付	M6×1.0	1	1.0	
キッククランク締付	M8×1.25	1	2.5	
プライマリドライブギヤ締付	M18×1.0	1	8.0	2面巾30mm左ネジネジロック使用
クラッチボス締付	M20×1.0	1	9.0	2面巾29mmロックワッシャ有り
プレッシャプレート締付	M6×0.8	5	1.0	
プレッシュレバーアクスル締付	M6×1.0	1	0.7	
カバープレート締付	M6×1.0	2	1.0	メインアクスル右ベアリング位置決めネジロック使用
ドライブsprocket締付	M20×1.0	1	9.0	2面巾32mmロックワッシャ有り
ストッププレート2締付	M5×0.8	2	0.7	ネジロック使用
ストップレバー (スプリング引掛け)	M8×1.25	1	0.8	ネジロック使用
シフトアーム締付	M6×1.0	1	1.0	
シフトロッド締付	M6×1.0	2	0.8	1ヶ左ネジ
CDIベース締付	M6×1.0	3	0.7	ネジロック使用
ピックアップコイル取付	M5×0.8	2	0.5	ネジロック使用
CDIマグネット取付	M12×1.25	1	9.25	2面巾17mm
ニュートラルスイッチ締付	M10×1.25	1	0.4	トルクオーバに注意
サーモユニット締付	PT <sup>1</sup> / <sub>8</sub>	1	1.5	
ターボモータドライブプーリ締付	M5×0.8	1	0.7	ネジロック使用トルクスボルト使用

### クランクケース締付順序

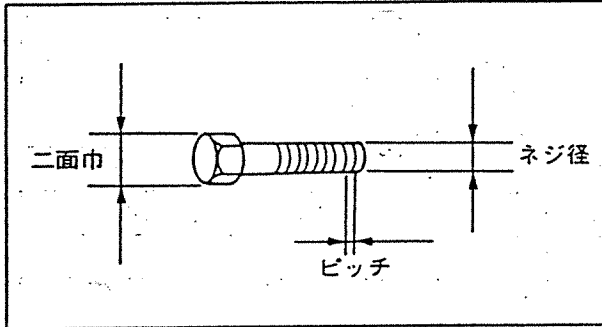




締 付 箇 所	強度区分	ネジサイズ	指定トルク	備 考
エンジン懸架フロント左、右	8 T	M8×1.25	3.5	
エンジン懸架リヤアッパ	8 T	M8×1.25	3.5	
エンジン懸架リヤアング	8 T	M8×1.25	3.5	
アーム1とリヤアーム	8 T	M10×1.25	4.0	
リヤクッションとフレーム	8 T	M10×1.25	5.5	
リヤクッションとリレーアーム	8 T	M10×1.25	4.0	
アーム1とリレーアーム	8 T	M10×1.25	4.0	
リレーアームとフレーム	8 T	M10×1.25	4.0	
ピボットシャフトとナット	7 T	M18×1.5	11.0	
フレームとリヤフレーム (前上左、右、下)	8 T	M10×1.25	5.5	ネジロック有 (前上のみ)
リヤフートレストブラケットとリヤフレーム	8 T	M8×1.25	3.5	ネジロック有
ハンドルクラウンとステアリングシャフト	5 T	M22×1.0	11.0	
ハンドルクラウンとインナチューブ	6 T	M8×1.25	2.5	
ハンドルとインナチューブ	8 T	M8×1.25	2.3	
キャリバ取付 (前後)	7 T	M10×1.25	3.5	
テンションバーとキャリバブラケット	6 T	M8×1.25	2.5	
テンションバーとフレーム	6 T	M8×1.25	2.5	
キャリバとブレーキホースユニオンボルト	7 T	M10×1.25	2.5	
キャリバとブリードスクリュー	4 T	M8×1.25	0.6	
マスターシリンダブレーキユニオンボルト	7 T	M8×1.25	2.5	
フロントマスタシリンダキャップ	4 T	M5×0.8	0.2	
フロントマスタシリンダとブラケット	8 T	M8×1.25	2.0	
フロントホイールシャフト	8 T	M16×1.5	7.0	
フロントフェンダとフロントフォーク	6 T	M6×1.0	0.6	
リヤホイールシャフトナット	8 T	M18×1.5	11.0	
サイドスタンドブラケットとフレーム	8 T	M10×1.25	5.5	ネジロック有
サイドスタンドブラケットとフレーム		M10×1.25	5.5	シフトヒン兼用ボルト ネジロック有
フロントアクスルホイール	8 T	M6×1.0	2.0	
スプロケットとハブ	8 T	M8×1.25	3.7	
ディスクブレーキとハブ	7 T	M8×1.25	2.0	
レバーコック	4 T	M4×0.7	0.2	
カウリングの樹脂ネジ		M5×0.8	0.04	スクリーングラウト1、2 フロテクタ1、2
リッド1とロック Ass'y		M22×1.5	0.3	POM
ステアリングシャフトとリングナット (下)	4 T	M25×1.0	0.3	
イグニッションコイルとフレーム	4 T	M6×1.0	0.1	ウェルナット
プレートブリッジとフレーム	4 T	M6×1.0	0.1	ウェルナット
フートレストブラケットとフレーム	8 T	M8×1.25	3.0	
リヤマスタシリンダとフレーム	8 T	M8×1.25	3.0	
サイドスタンドピボット部ボルト	7 T	M10×1.25	4.0	
サイドスタンドピボット部のロックナット	4 T	M10×1.25	3.5	

### その他、一般締付トルク

締付トルク指定箇所以外のボルト、ナットの締付トルクはネジ径、ピッチにより締付トルクを決め締付けます。



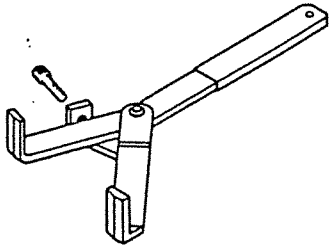
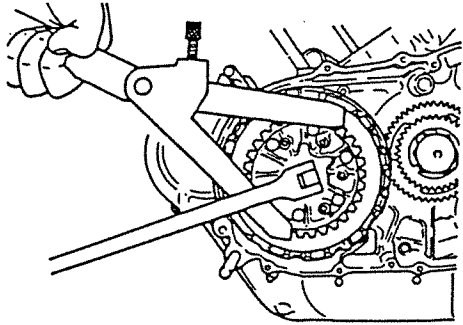
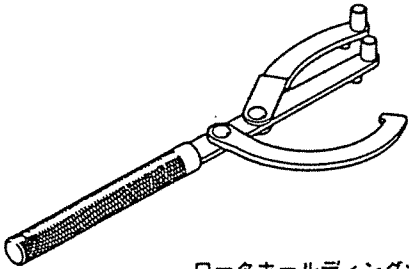
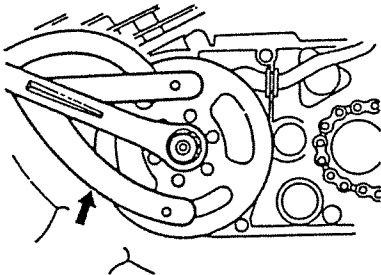
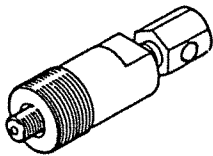
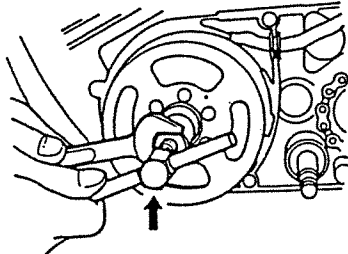
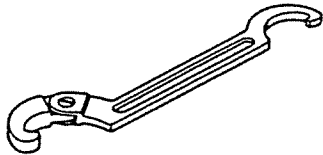
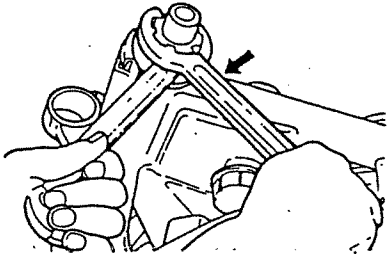
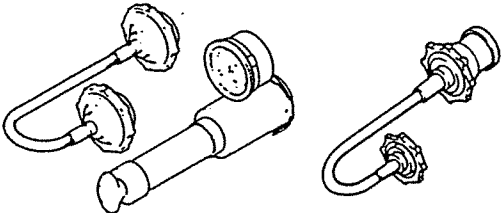
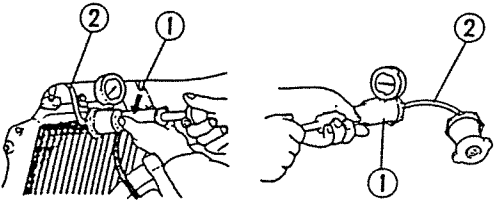
ネジ径×ピッチ	締付トルク
M5×0.8	0.3~0.45kg・m
M6×1.0	0.55~0.8 kg・m
M8×1.25	1.2~1.9 kg・m
M10×1.25	2.4~3.9 kg・m
M12×1.5	4.5~7.2 kg・m

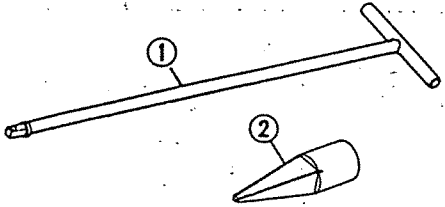
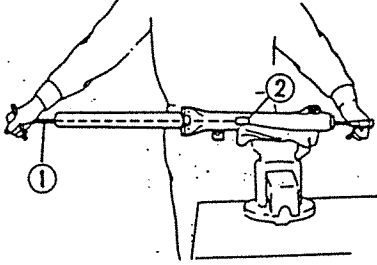
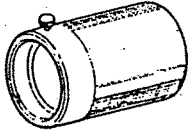
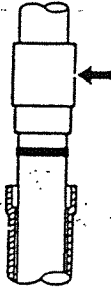
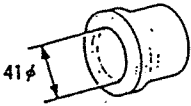
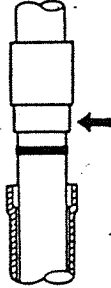
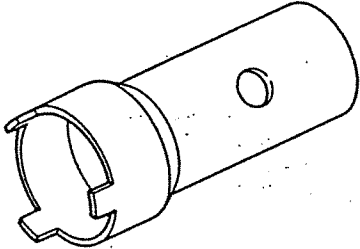
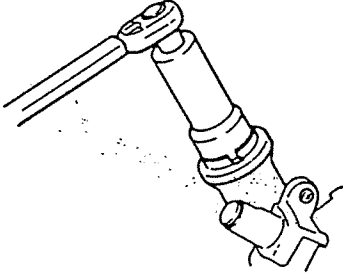
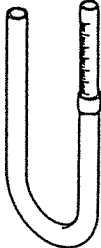
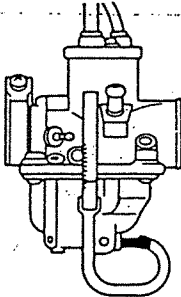
2) オイル、グリース、シール剤塗布箇所一覧表

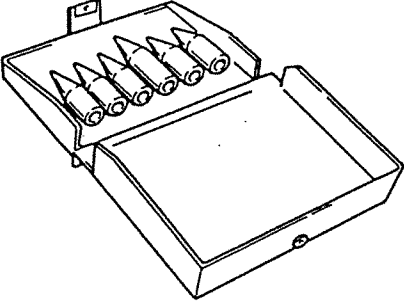
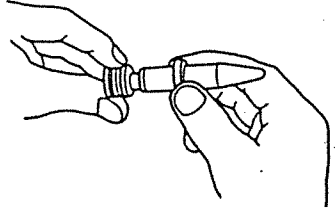
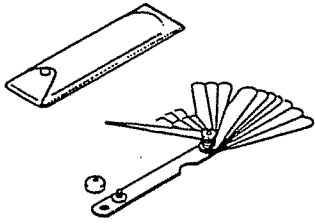
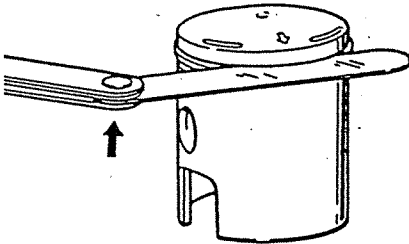
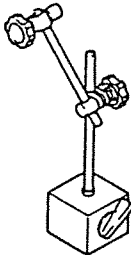
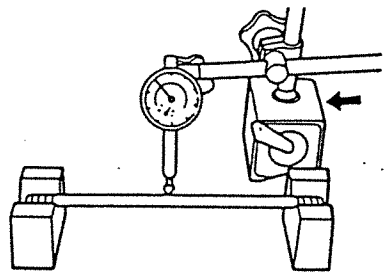
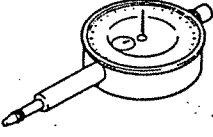
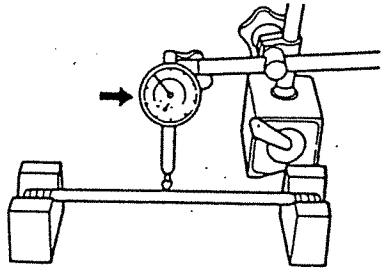
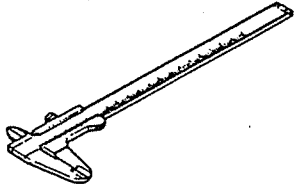
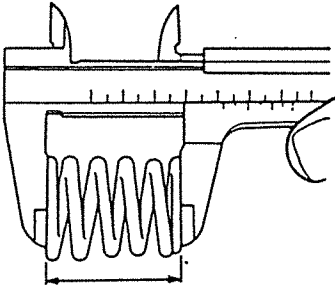
エンジン

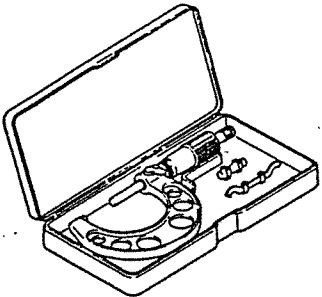
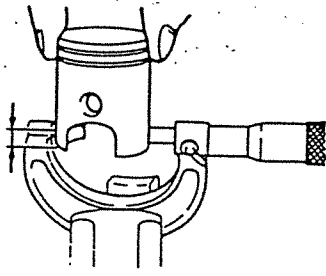
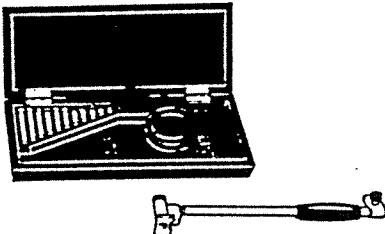
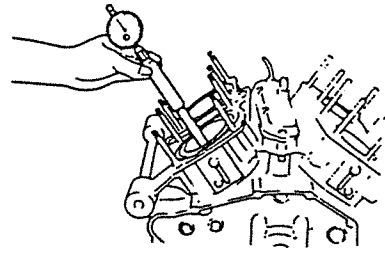
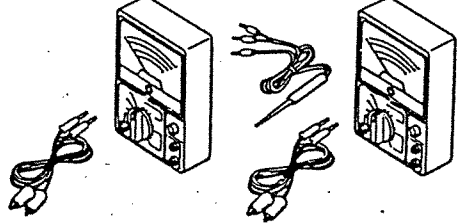
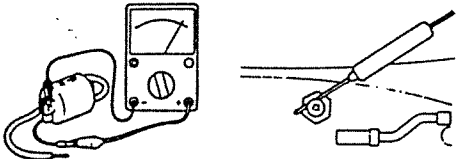
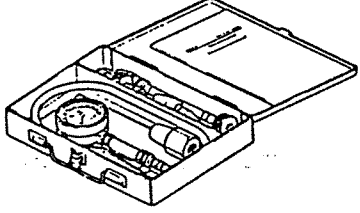
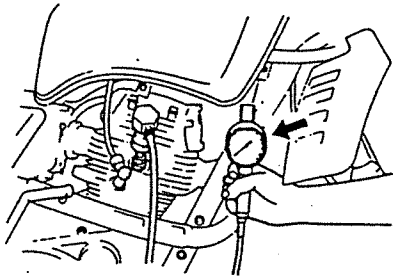
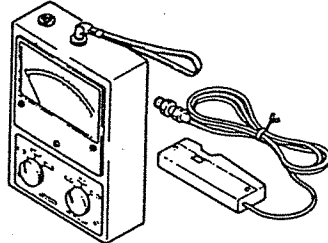
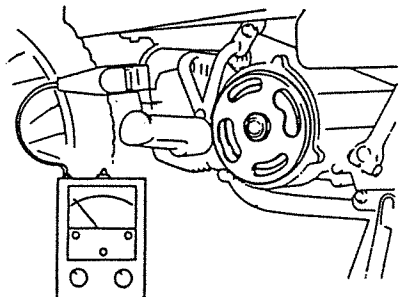
オイル、グリース塗布箇所	オイル、グリースの種類
全てのオイルシールリップ部	ヤマハグリースB
全てのOリング外周部	〃
全てのベアリングリテーナ部	ヤマハオートループスーパーオイル
	ヤマハギヤオイル
クランクシャフト大端部	ヤマハオートループスーパーオイル
ピストンリング外周部	〃
ピストン外周部	〃
ピストンピン外周部	〃
YPVSバルブ軸受部	ヤマハグリースB
インペラシャフト軸部	ヤマハギヤオイル
ドライブギヤシャフト軸部	〃
トロコイドポンプ部	〃
SPアイドルギヤ内面、端面	ヤマハ二硫化モリブデンオイル
キックシャフト軸受部	ヤマハギヤオイル
ドリブンギヤComp内面	〃
プッシュロッド軸部外周	〃
ドリブンギヤComp両端面部	〃
ミッション摺動ギヤ内面	〃
ミッション遊動ギヤ内面、端面	〃
ドライブ軸カラー内面	〃
シフトフォークガイドバー外周	〃
シフトシャフト軸受部	〃
シフトカムAss'y左側軸受部	〃
ボールリンク摺動部	ヤマハグリースB
シフトペダル内面	〃
クランクケース上、下合面	ヤマハスリーボンドNo.1215
ケース合面部のオイルシール外周	ヤマハグリースB又はヤマハギヤオイル

オイル、グリース塗布箇所	オイル、グリースの種類
ヘッドパイプ上下ベアリング部	ヤマハグリースB又はシェルレチナックスA
フロントホイールのオイルシールリップ部（左右）	ヤマハグリースB又はゼミコカップグリースNo.1
リヤホイールのオイルシールリップ部（左右）	〃
クラッチハブ Ass'yのオイルシールリップ部	〃
クラッチハブ Ass'yとリヤホイールとの嵌合部	〃
リヤブレーキペダルのシャフトの外周面	〃
チェンジペダルのシャフトの外周部	〃
サイドスタンドとボルト、サイドスタンドブラケットとの摺動面	〃
ガイドチューブの両面及びスロットルケーブル取付部	〃
クラッチレバーのクラッチケーブル取付部	〃
クラッチレバー 取付用カラーの外周面及びクラッチレバーとレバーホルダーとの摺動面	〃
ブレーキレバー 取付ボルトの軸部及びブレーキレバーとマスタシリンダとの摺動面	〃
アーム1、リヤアーム側取付部ベアリング内面	ヤマハ二硫化モリブデングリース 又はシェルレチナックスAM
ピボットシャフト外周面	〃
リヤアームピボット部ベアリング内面	〃
リヤアームスラストカバー内側	〃
リレーアームのベアリング内面	〃
リヤアームのオイルシールリップ部	〃
リヤフートレストボール部	ヤマハグリースB又はゼミコカップグリースNo.1
リヤフートレスト取付部のピン外周面	〃

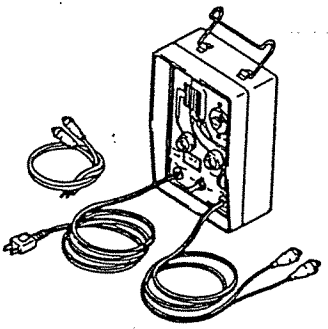
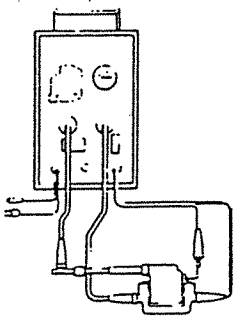
名 称	使 用 方 法 例
 <p data-bbox="483 464 756 489">クラッチホルダ 90890-04086</p>	
 <p data-bbox="477 789 753 831">ロータホールディングツール 90890-01235</p>	
 <p data-bbox="456 1148 753 1173">マグネットブーラ 90890-01189</p>	
 <p data-bbox="358 1491 753 1516">ステアリングナットレンチ 90890-01268</p>	
 <p data-bbox="272 1808 748 1854">① ラジエタキャップテスタ 90890-01325 ② ラジエタキャップテスタアダプタ 90890-01352</p>	

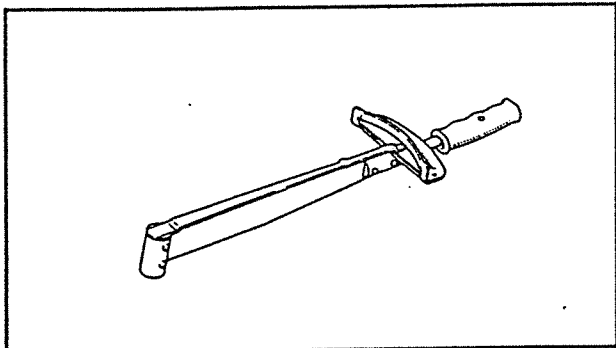
名 称	使 用 方 法 例
 <p>①フォークシリンダコンプリートハンドル 90890-01326 ②ハンドルアダプタ 90890-01432</p>	
 <p>フロントフォークオイルシール圧入ウエイト 90890-01367</p>	
 <p>アダプタ 90890-01381</p>	
 <p>ステアリングナットホルダ 90890-01385</p>	
 <p>フュエルレベルゲージ 90890-01312</p>	

名 称	使 用 方 法 例
 <p>シリンダカップインストラセット 90890-01996</p>	
 <p>シックネスゲージ 90890-03079</p>	
 <p>マグネットベース 90890-03019</p>	
 <p>ダイヤルゲージ 90890-03097</p>	
 <p>ノギス 90890-03005</p>	

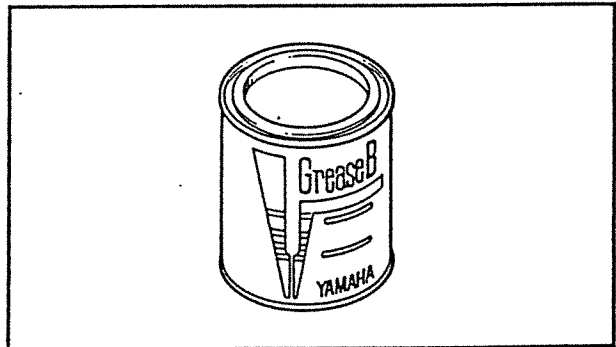
名 称	使 用 方 法 例
 <p data-bbox="665 304 812 451">           マイクロメータ            0—25mm—            90890-03006            25—50mm—            90890-03007            50—70mm—            90890-03008         </p>	
 <p data-bbox="535 766 812 798">シリンダゲージ 90890-03017</p>	
 <p data-bbox="381 1081 812 1134">           ポケットテスタ 90890-03112            温度ブローフ付ポケットテスタ 90890-03132         </p>	
 <p data-bbox="446 1449 812 1480">コンプレッションゲージ 90890-03081</p>	
 <p data-bbox="479 1785 812 1816">エンジンタコメータ 90890-03113</p>	



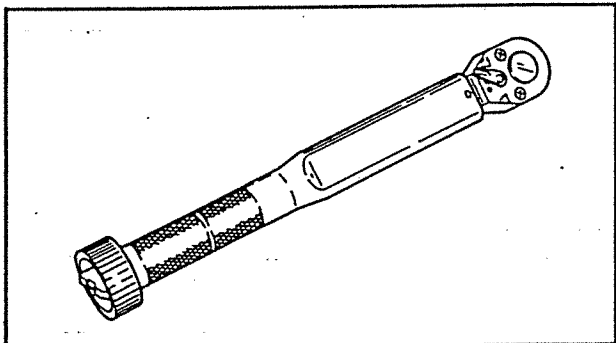
名 称	使 用 方 法 例
 <p>コイルテスタ 90890-03074</p>	



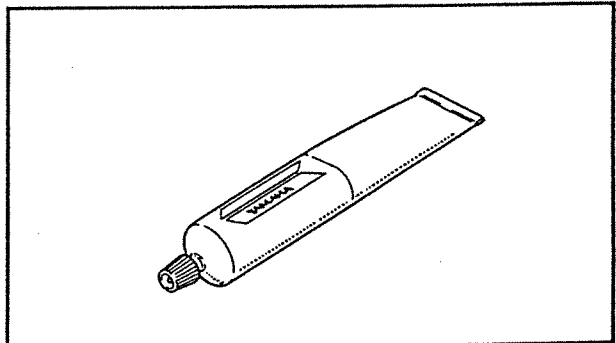
F型トルクレンチ 90890-05006



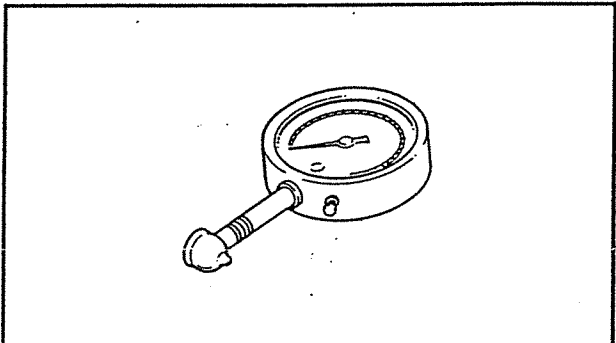
ヤマハグリース(B) 90890-69916



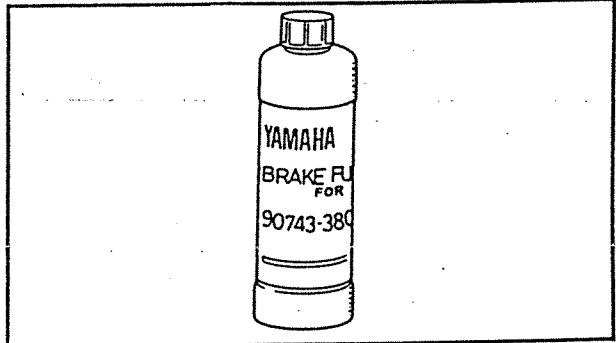
QL型トルクレンチ(ヤマハ推奨品) 450.1800



ヤマハボンド1215 90890-85505



タイヤゲージ 90890-05098



ヤマハブレーキフルード(DOT4) 90743-38001

営業呼称	ヤマハスポーツTZR250	
車名・型式	ヤマハ・3MA1	
車種コード番号	3MA	
認定番号	II-159	
車台打刻開始番号	3MA-000101~	
原動機打刻型式	3MA	
発売年・月	1989年2月	
寸法	全長	2040mm
	全巾	655mm
	全高	1100mm
	シート高	770mm
	軸間距離	1380mm
	最低地上高	130mm
重量	乾燥重量	136kg
	車輛重量	156kg
	前輪分布	78kg
	後輪分布	78kg
	車輛総重量	266kg
	前輪分布	100kg
量	後輪分布	166kg
	乗車定員	2名
性能	定地燃費	41km/ℓ (50km/h)
	登坂能力	$\theta = 31^\circ$
	最小回転半径	3100mm
	制動停止距離	14m(50km/h)
原動機	原動機種類	2サイクル、水冷
	気筒数配列	並列2気筒横置
	総排気量	249cm <sup>3</sup>
	内径×行程	56.0mm×50.7mm
	圧縮比	7.4
	圧縮圧力	7.0kg/cm <sup>2</sup> -700rpm
	最高出力	45PS/9500rpm
	最大トルク	3.8kg・m/8000rpm
	エアクリーナ形式	湿式ウレタンフォーム
	クラッチ形式	湿式多板

原動機	ミッションチェンジ方式	常時噛合式前進6段		
	始動方式	キック式		
	点火方式	C.D.I点火		
	潤滑方式	ヤマハオートループ		
車体	フレーム型式	アルミデルタボックス		
	キャスタ	25°00'		
	トレール	94mm		
	ハンドル切れ角	左右各30°		
	フュエルタンク容量	16ℓ		
	オイルタンク容量	1.4ℓ		
	ブレーキ形式	前	油圧式ディスクブレーキ	
		後	油圧式ディスクブレーキ	
	懸架方式	前	テレスコピック	
		後	スイングアーム	
	緩衝方式	前	オイルダンパ+エア、コイルスプリング	
		後	ガス、オイルダンパ+コイルスプリング	
	タイヤサイズ	前	110/70R17 54H	
		後	140/60R18 64H	
指定タイヤ	前	ダンロップ K610F ブリヂストン CY15		
	後	ダンロップ K610 ブリヂストン CY16		
クランクシャフト	構造	組立式		
	大端部軸受種類	ニードルベアリング		
	クランクシャフト組立標準値			
ピストン	ピストンクリアランス	0.045~0.050mm		

定地燃費(運輸省届出値)は定められた試験条件のもとでの値です。  
 従って走行時の気象、道路、車両、整備などの諸条件によって異なります。

ピ ス ト ン	ピ ス ト ン ピ ン 孔 内 径	標 準 値	16.004~16.015mm		
		使用限度	16.035mm		
	組 付 方 向	矢印排気側			
ピ ス ト ン	ピ ス ト ン ピ ン 外 径	標 準 値	15.995~16.000mm		
		使用限度	15.975mm		
ピ ス ト ン リ ン グ	形 状	TOP	キーストン		
		2nd	プレーン (エキスパンダス)		
	合 口 隙 間	TOP	0.30~0.45mm		
		2nd	0.30~0.45mm		
		使用限度	0.8mm		
	サ イ ド ク リ ア ラ ン ス	TOP	0.02~0.06mm		
2nd		0.035~0.070mm			
使用限度		0.10mm			
シ リ ン ダ	シ リ ン ダ ヘ ッ ド	歪み限度	0.03mm		
		シ リ ン ダ	歪み限度		
原 動 機	吸 気	開 き	自動管制式		
		閉 じ	自動管制式		
	排 気	開 き	A.T.D.C. 82°~99°		
		閉 じ	B.T.D.C. 82°~99°		
	掃 気	開 き	A.T.D.C. 116°		
		閉 じ	B.T.D.C. 116°		
ク ラ ッ チ	ク ラ ッ チ プ レ ー ト × フ リ ク シ ョ ン プ レ ー ト		6×7		
	ク ラ ッ チ プ レ ー ト	標 準 厚 さ	1.5~1.7mm		
		歪み限度	0.05mm		
	フ リ ク シ ョ ン プ レ ー ト	標 準 厚 さ	2.9~3.1mm	3.4~3.6mm	
		使用限度	2.8mm	3.3mm	
	ク ラ ッ チ ス プ リ ン グ	自 由 長	40.1mm		
使用限度		38.1mm			
数 量		5			
減 速 比	1 次 減 速	歯 数	61/25		
		比	2.440		
	変 速 歯 数 ・ 比	1 速	34/14	2.428	
		2 速	30/17	1.764	
		3 速	24/18	1.333	
4 速		25/22	1.136		

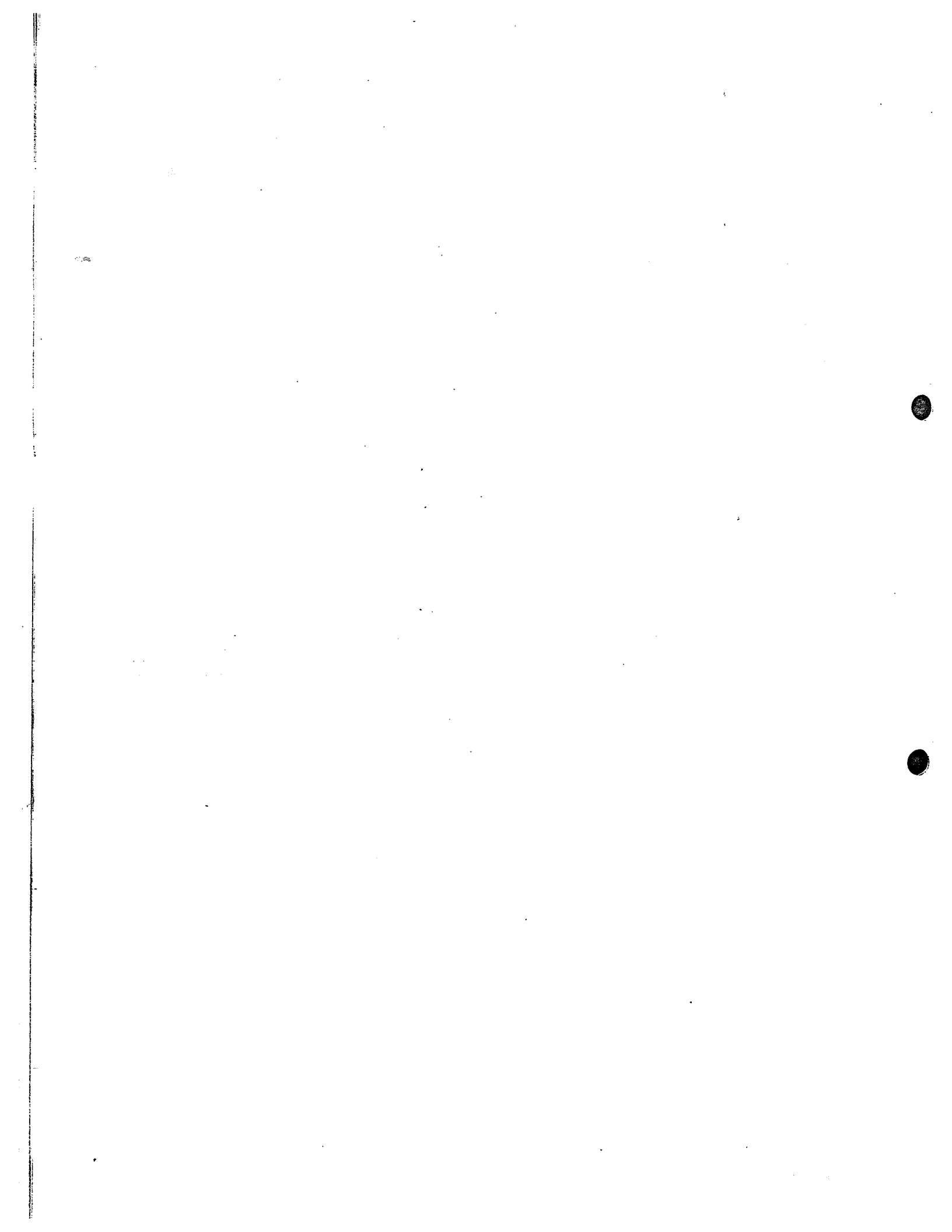
減 速 比	変 速 歯 数 ・ 比	5 速	24/24	1.000
		6 速	20/22	0.909
2 次 減 速	歯 数	43/14		
	比	3.071		
ド チ	型 式	DID520V2		
ラ エ イ ブ ン	メ ー カ	大同工業		
	駒 数	112L		
	た わ み 量	30~40mm		
ミ シ シ ン 油 イ ル	指 定 オ イ ル	ヤマハギヤオイル		
	オ イ ル 量	定期交換	900cm <sup>3</sup>	
オーバー		950cm <sup>3</sup>		
リ バ   ル ド ブ	リ ー ド バ ル ブ と シ ー ト の す き 間 限 度	1.0mm		
	ス ト ッ パ の 高 さ	9.6mm		
オ ル ボ   イ ン ト ブ	指 定 オ イ ル	ヤマハオートループ スーパーオイル		
キ ヤ ブ レ タ	型 式	TM32SS		
	刻 印	3MA00		
	ベ ン チ ュ リ 口 径	φ32		
	メ イ ン ジ ェ ッ ト	#180		
	メ イ ン エ ア ジ ェ ッ ト	MAJ1 #50 2#50 3#150		
	ジ ェ ッ ト ニ ー ド ル	6H8-63		
	ク リ ッ プ 段 数	3段		
	ス ロ ッ ト ル バ ル ブ (C.A)	5.0		
	バ イ ロ ッ ト ジ ェ ッ ト	#15		
	エ ア ス ク リ ュ ー	2-1/2戻し		
	ニ ー ド ル ジ ェ ッ ト	Q-8(610)		
	ス タ ー タ ジ ェ ッ ト	#80		
	フ ェ ル レ ベ ル	5~7mm		
	H 寸 法	18.9~20.9mm		
ア イ ド リ ン グ 回 転 数	1250rpm			
パ ワ ー ジ ェ ッ ト	#20			
ス ト   ロ ル ブ ツ ケ ル	ス ロ ッ ト ル ケ ー ブ ル の 遊 び (ス ロ ッ ト ル グ リ ッ プ 外 周 部)	4~6mm		
ト ボ 口 コ ン イ ド ブ	ロ ー タ ハ ウ ジ ン グ 端 面 と ロ ー タ 端 面 の す き 間	標 準 値	0.03~0.15mm	
		使用限度	0.18mm	
ア ウ タ ロ ー タ と ロ ー タ ハ ウ ジ ン グ の す き 間	ア ウ タ ロ ー タ と ロ ー タ ハ ウ ジ ン グ の す き 間	標 準 値	0.10~0.15mm	
		使用限度	0.17mm	

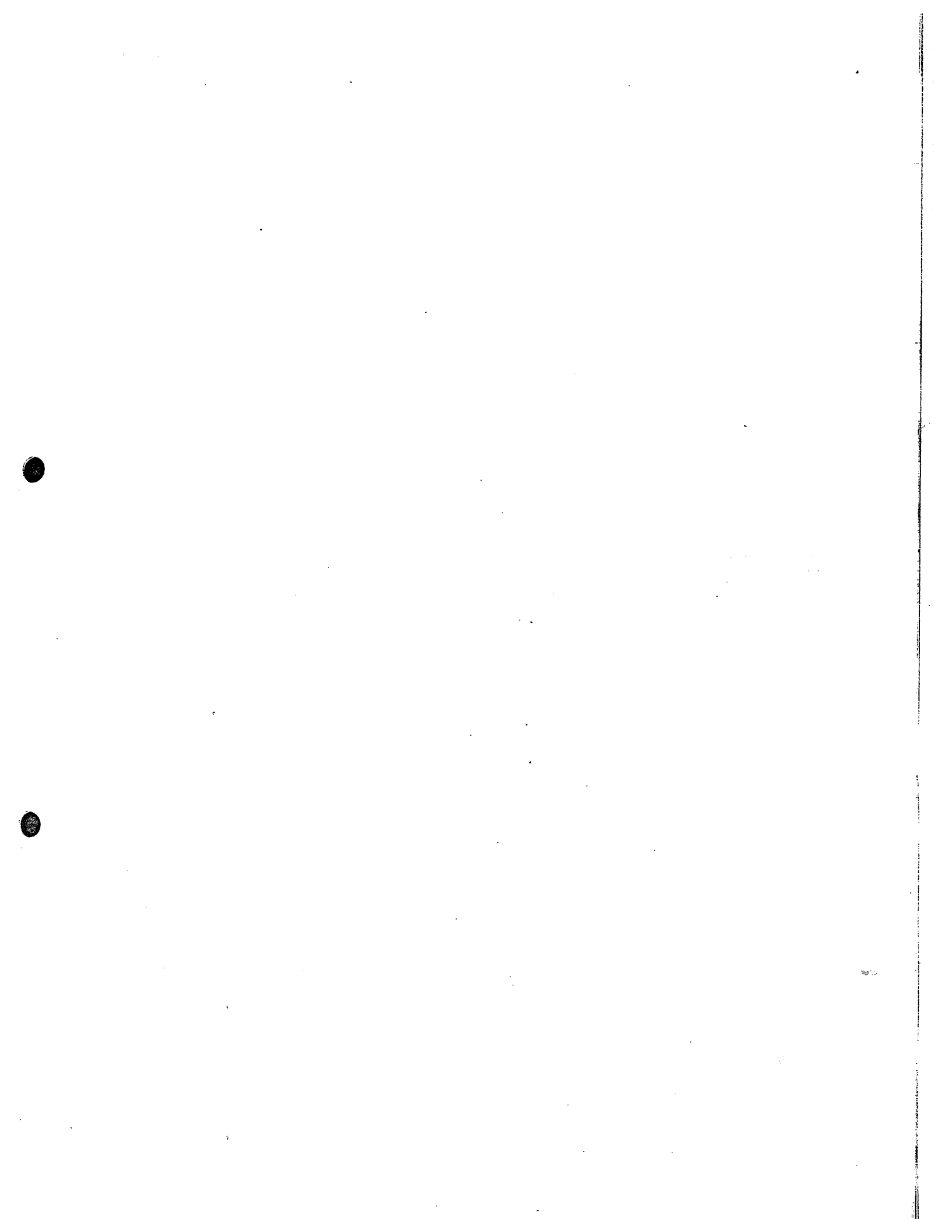
トボ コ ン ド ブ	インナロータと アウトロータのすき間	標準値	0.04~0.09mm	
		使用限度	0.12mm	
	ロータの厚さ標準値	7.98~8.00mm		
ラ ジ エ タ	型 式	コルゲートフィン型		
	幅	325.0mm		
	高 さ	217.4mm		
	厚 さ	16mm		
	耐 圧	1.8kg/cm <sup>2</sup>		
	ラジエタキャップ開弁圧	0.75~1.05kg/cm <sup>2</sup>		
	冷却水総容量	1.63ℓ		
	ラジエタ容量	0.56ℓ		
サ ー モ ス タ ツ ト	型 式	47X		
	メ ー カ	日本サーモスタット		
	バルブ開き始め温度	63~67℃		
	バルブ全開温度	80℃		
	全開バルブリフト量	7mm以上		
サ ー ニ ツ ト モ ト	型 式	2YK		
	メ ー カ	日本精機		
水 温 計	型 式	可動磁石式		
	メ ー カ	日本精機		
	コイル抵抗値	(50℃156Ω)~ (115℃18.2Ω)		
オ イ ル レ ベ ル ジ	型 式	3MA		
	メ ー カ	太平洋アスティー		
フ ロ ン ト フ ォ ー ク	ホイールトラベル	140mm		
	オイル量	425cm <sup>3</sup>		
	オイルレベル	150mm		
	指定オイル	ヤマハサスペンション オイルG5		
	インナチューブ径	φ41		
	スプリング	自由長	293.7mm	
		使用限度	288mm	
ス リ テ ン ア グ	上 種	テーパローラ ベアリング		
	下 種			
フ ロ ン ト ル	ホイールアクスルの曲り限度	0.25mm		
	リムの振れ限度	2mm		

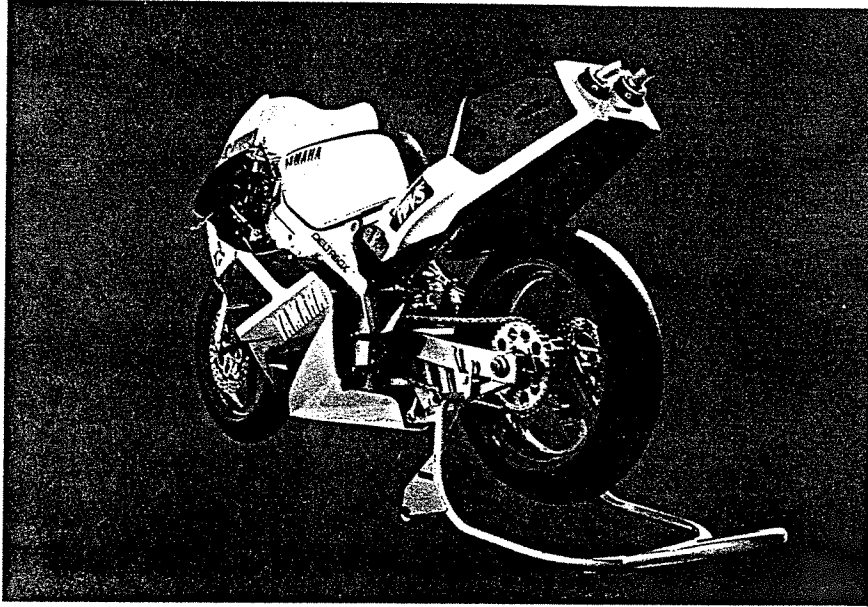
フ ロ ン ト ホ イ ー ル	フ ロ ン ト ブ レ ー キ	ブレーキレバー先端部遊び		2~5mm	
		ディスクの振れ限度		0.5mm	
		ディスクの 厚 さ	標準値	5.0mm	
			使用限度	4.5mm	
		パッドの 厚 さ	標準値	5.5mm	
使用限度	0.5mm(インジケータ有)				
指定ブレーキフルード		ヤマハブレーキフルードDOT3 又はDOT4			
リ ヤ ホ イ ー ル	ホイールアクスルの曲り限度		0.25mm		
	リムの振れ限度		2mm		
	ブ レ ー キ ペ ダ ル	取付高さ	50mm		
		遊 び	13~15mm		
	ディスクの振れ限度		0.5mm		
	デ ィ ス ク の 厚 さ	標準値	5.0mm		
		使用限度	4.5mm		
	パ ッ ド の 厚 さ	標準値	5.5mm		
		使用限度	0.5mm(インジケータ有)		
	指定ブレーキフルード		ヤマハブレーキフルードDOT3 又はDOT4		
リ ク シ ン ギ ン	ホイールトラベル		120mm		
	調整範囲		H7 ← 標準 3 → S1		
タ イ ヤ	空 気	1名乗車	前	2.00kg/cm <sup>2</sup>	
			後	2.25kg/cm <sup>2</sup>	
	2名乗車	前	2.00kg/cm <sup>2</sup>		
		後	2.50kg/cm <sup>2</sup>		
	高 速 走 行 (1名乗車)	前	2.00kg/cm <sup>2</sup>		
		後	2.50kg/cm <sup>2</sup>		
残溝使用限度		一般	0.8mm		
		高速	1.6mm		
バ ッ テ リ	型 式	YT4L-BS			
	メ ー カ	日本電池			
	容 量	12V3Ah			
	充 電 電 圧	0.4A以下			
	電 解 液	量	約180cc		
比 重		1.32(20℃)			
マ ツ ネ ト	型 式	VCE79			
	メ ー カ	日本電装			

Cマ ・ グ Dネ ・ ト ー	発 電 機 種 類	交流発電機	
	ビクアップコイル抵抗値	188~282Ω (白/緑-白/黒)	
	チャージコイル1抵抗値	128.8~193.2Ω (緑-茶)	
	チャージコイル2抵抗値	3.6~5.4Ω (茶-赤)	
	ステータコイル抵抗値	0.44~0.66Ω (白-白)	
	充 電 電 圧 値	14.3~15.3V/3000rpm	
C.ユ ・ D.ニ ・ ト ー	型 式	QCA08	
	メ ー カ	日本電装	
サモ ー ボタ	型 式	2XT	
	メ ー カ	ヤマハ	
C.ユ ・ D.ニ ・ ト ー	型 式	QCA08	
	メ ー カ	日本電装	
点 火 タイ ミ ン グ	点 火 時 期	B. T. D. C19*/1200rpm	
	進 角 方 式	電気式	
イコ グ ニ ッ シ ョ ン ル	型 式	3MA	
	メ ー カ	日本電装	
	火 花 性 能	6mm以上	
	コイル抵抗値	一 次	0.281~0.38Ω
二 次		4.72~7.08KΩ	
ス ブ パ ラ ー ク グ	型 式	BR8ES, BR9ES, BR10EV	
	メ ー カ	N. G. K	
	ブ ラ グ ギ ャ ッ プ	0.7~0.8mm	
レ ギ ユ レ タ イ ヤ	型 式	SH569	
	メ ー カ	新電元工業	
	調 整 電 圧	14.3~15.3V	
ホ ー ン	型 式	GF-12	
	メ ー カ	ニッコー金属	
	性 能	95~105dB/2m	
	巻 線 抵 抗	4.4~4.78Ω	
	電 流	1.5A以下	
フ リ ラ ッ レ シ ャ ー	型 式	FZ249SD	
	メ ー カ	日本電装	
	点 減 回 数	85±10回/分	
	フラッシュリレータイプ	コンデンサ式	
信 照 号 明	ヘ ッ ド ラ ン プ	12V60/55W(ハロゲン)	

信 号 ・ 照 明	マ ー カ ラ ン プ	12V3.4W		
	ス ト ッ プ / テ ー ル ラ ン プ	12V21/5W×2		
	フ ラ ッ シ ャ ラ ン プ	12V10W×4		
	メ ー タ ラ ン プ	12V3.4W×4		
	バ イ ロ ッ ト ラ ン プ	フ ラ ッ シ ャ	12V3.4W	
		オ イ ル 残 量 警 告	12V3.4W	
ハ イ ビ ー ム		12V3.4W		
ニ ュ ー ト ラ ル		12V3.4W		
	速 度 警 告	12V3.4W		
ヒ ュ ズ	メ イ ン	20A		
ベ ア リ ン グ ・ オ イ シ ル	クランクシャフト	左、右	83464A1SH2-9TCS36	
		中	83406E1SH2-9TCS36	
	メインアックスル	左	NK20×33×15N-1	
		右	5205	
	ドライブアックスル	左	83427	
		右	20NQ3212	
	シ フ タ	右	HKS36×42×12-1	
	フロントホイール	左	6203	
		右	6203	
	リヤホイール	左	6004RS	
		右	6204	
	ク ラ ッ チ ハ ブ	6205ZRS		
	クランクシャフト	左	FWJ25-40-10GS	
右、中		FWJ35-62-7 ZS		
ウ ォ ー タ ポ ン プ	FLJ12-31-13.5 GS			
ク ラ ッ チ ( プ ッ シ ュ ア ク ス ル)	SD15-25-5			
ド ラ イ ブ ア ク ス ル		SD-35-52-8HS		
	(補修用)	SD7 35-52-8 VS (+サークリップ)		
シ フ ト シ ャ フ ト	SD-12-22-5 HS			
キ ッ ク ア ク ス ル	SD-20-30-6			
Y. P. V. S (シリンダ)	XMH15 23 5-6. 4J-D			
フ ロ ン ト ホ イ ー ル	SD-23-40-7			
メ ー タ ギ ヤ 部	(SD0) MHS 2A 45-56-6			
リ ヤ ホ イ ー ル	SD-28-47-7			
ク ラ ッ チ ハ ブ	SD-32-52-7			







発売元：

**RCSUGO**

宮城県柴田郡村田町菅生  
〒989-14 TEL(0224)83-3125

製作：

株式会社 **744-3-**

**YEC**